



大C十一号

1922

(1)



diary 1922.

大正
一年

1. (10)

小田原、元・独立年々迄ニ成野氏方、某
月、入り午前 10.15 ~ 上空 車中賀川豊彦史、
新刊新法「雲の柱」ト讀ム 同意にて早毛

2. (11)

朝、母上車久カリ一帯付ト共、絶対食ヲ禁
フソーヴ、吉澤ニ十共二人付ヒ前 11.15 東京
駅、既に二時、既十四原モ一ヘル、十共連、
起、迎、午八時發、ラジオナトス。

夕五時過植田由太郎來訪、口東近来減物、
内省一向ハタルヤラリ、ヨシ瓦子、報告ヲ去、終
ミタル以降佛、竟走アル旨達レル、余ハ報告、
其ノモ望コニケレバ敢テカシメ、併、御、期、
延ス、ハ及ハカル旨、先ハ四日御、待、付、向、東文上
ニ送ス、方室シテ、一處、シテ、云スヘ、支取ラジル
一時向テ、テ、譯去アル。

一月

3. (火)

午前会議終了後

4. (水)

午前会議終了後
 宣伝以十度速→十度会周=故步し
 興奮十四度高止事持二度から八度在
 在行會議終了後会議終了

5. (木)

午前会議終了

北松井田二史他→十一月会議終了後、会員
 通知文

吉村柳太郎→空氣王亨史交換才而入就
 故、下向、やらためて他、方面=一見齊東
 万葉書狀→

一月

6. (金)

午前竹内謹一太田謙吉書面及原稿
 送来、懸念、空心懸念、意→過渡→午前故書終
 早一會、午前、希望之
 ✓ "Tschubit", Rudner 来、故書 打印、送付、付託
 ト、走る

午前十度会周=北共連教會事本日東京
 事、午前九度又一會、芝→過渡半夏道行十度
 番次
 午前会議終了後会議終了

7. (土)

午前会議終了

大原洋二郎史=返書、午前二月會議終了後
 在行會議終了後用、八度→同季事、中道八度
 一九九二年、中道八

賀川豊彦史=費氏行動報告、企に向推、
 八度→十度中道八

朝倉義、帰国後野山耕史來訪、登記、坂東
 事→向、午前九度、時時及洋行、日本相接、午前八
 一度、中道八度、可人斗洋行、一會役伍可人斗洋行

一月

8. (日)

執務の処理又

宣食以車及十世二人支度の整へ 2.00+四
原是ニテ帰京之 全之運賃行 3.25-3.26
用意心ナムモ又

9. (月)

午前車船にて、11時、飯支毛太久保、
辺、地理の2題ナム又事務計用、袋詰ケシ押
レ上野-支那、帰京又
夕講義ナリ

10. (火)

前 10.40-11.40 総理高士科先生
在 1-3 大主

大本事務室(該事部及經濟事部)、食料庫
用物、ナム依頼心ナ

夕呼ナ甚矣、次第、仁前告文署史の
依託、過物ナムナム

一月

考入、植木室 動坂町事務所、元信入川希望
望ル内田上川ナリ故今夕叶フ希望
ト有無ナシナム

11. (水)

「本邦人の現在及将来、二坂ナ執筆に於く
ニキ北山史未計大限重臣氏死矣ニテ奈良
委員会ナリ故車口西貢候ニ次第又由ナリ 仕事
事務所移轉、相談ナス至次ナル 俊鑑調査材料
編整ニ付上皇史引燒嘴耗レニ月ヨリスルナス

加一時ナリ向北ナテ西貢今ノ局、施田官野大島
以降七號(速)、諸君考請 越南史、先日本官
病氣ナリナ即期、佐東夕帰ナス
本官出、徐々養病報告、又施田山以知ノ事務所
成是地莖、報告ナ

✓ 朝末佐治、邦外支事務計ニ辛太久保方
面、移スカニ、未だ 但シ吉分子下、動坂町元
ニ事務計置スル事、大坂官野史ナシ越
智史、通知ニ故古史ニ事務計内ニ起リト
レ得ルナリ、2

✓ 施田史、讀書会、二十元ナム官野ヒ聽講者

一月

晉ルカ Kaukyky, Doktahw + ハナ・清便 7/27
元 7/2-3

所定、會長の毎週小懇親会
高橋田中 1月島調査委員会、而飛行先 +
相談会
カナ王時、復故会

12. (木)

朝大時事記故伎年部書記川上博美
東京=吊意表

90.40 - 11.40 理理

次=東京駅=アリバトモ 7 購
和田正敏、矢野恒太郎伊藤万太郎
東京=北洋銀行不在

塔上、東洋軒=監視、設計監修=八木
事務所見

物=上野の田舎、支那駐在院位置
現=中央、入江セメント工場ヒルスナリ
カナ王時、田舎

タカハシ郎吉主計 カナ王時、面=川口
新田川遠處+忠告試験力内

一月

13. (金)

清義年傳

高橋一郎 太宰清義

夕飯跡=入部、矢味アリ平川人
石井中一 横井野史來訪

14. (土)

八木主計の手帳 7/27人

着書、手心、執筆

月島調査、昭和、高橋ノ

15. (日)

八木主計 今夕モ立スベア、麻生高賀、賀子林
中止=アリ Kaukyky International、高文
(高)、吐ノ東太郎

横田中=忠告、竹量+忠告=忠告物、而種
等の前段セメント工場メオリ

一月

16. (月)

凡即治大前十時過起未事、東車停事場行
及貴、有志者、尤メナ役者
午7.20 東車駅是、四附津ヲ過テ海先
入ル

17. (火)

朝八時半大坂駅着、荷物アリル故ニキニ
行方計、著、料金2.60
✓ 高田史ト打合ス。
事務室事務会候、補助本充支、数口未足留某町中
の而今又高、神代高生印東不應、男、四場
設立、新井久太郎
立派大手勤務、事務 Well, Constitution 諸君、セレカ
吉所、御被梅山也 Well、中船、付何トヨタスナト
相談、乃事情、達、事ハシメタス
東車事務計程轉計画、了迄にオク
上生東、二月二十日魂子、支給、叶置
計量、皆覽、皆當、打合ス
午後日本銀行、平田總理處來訪、諸威莫
四、時時、氣氛、種々谈ス

一月

今田津一志來町、該佛、平度一付御前、方便立
上、ラーラキヤ板ナリ、中島家～四合スノ約ス
山名家～東車福西氏、未狀、板ナリ、又個人
的、日島家、处分、運カヌヘアコナトテモス
夕四川史夫車ト候矣、入セ平クリス

18. (水)

✓ 午前、食料商店、德國莫史及孚野帝太也史
来訪、徳國史、大原氏、局、軍、口口、今波
農業研究院、病院、方傳科主、行医計備日、外
大規模、主トヒラ独、書、宣入、タニ志アリソ、
行方計、方、乞セラ、立ニ、ヨー、室ニ、支那史
地、元、事、耕、ナ、史、依賴、シ、立、大、ナ、ヤ、ナ、均
候アリ（金額、十万円、程、支那スル模様
九曲）高田史、加、相、達ニ、夏、支、ニ、ト、支
也、高、徳國史、互事、費、カス、
立、仓库敷方面、製、車、而、臺、成、方、成、四、四、九、一
、依賴、ニ、是、一、セ、ナ、ト、立、天、ナ、行、及、計、才、ニ、大、ニ、相
達、ス、カ、ス
志、個人、(レ)、徳國史、高田總理處、行、コ、大
原氏、御、ナ、ト、テ、モ、ア、考、慮、ニ、達、ス、カ、ス

一 月

早朝丸の運び未回復歟、由ツリ森人太刀持而
久留向四左、依介又、立西内室内又
カツラ本丸上に在て時過碑等アリ
而食竹、高木扇大丸未訪、食牧文化図書会、
講演依頼アリ三月中旬、北千草達又
久向向太田一丸、南草細合説走ラセ
特ナ

河面高ツル Bernkeln、Voranschungen ？ 豊心
Kantley、Agrarfrage ？ ト、中古アリ、豊手草
達又、丸田丸、Bernkeln、アーヴィング、
仕事トシラテキラ希望アリ、事知ス
山名丸、佐野一件寺口、太朝紙上ニ現
ル、高田丸川二丸ト近ニ有事更始ハ此後又ヘ
テ、又、同、其間1件トメ、意見、有、合致ス
少食以御川丸丸、叶世界、中又
第7席也
伊藤与市丸の技量、未開の事心ト、是半生アリ
他、皆叶休

一 月

19. (木)

✓ 何止肇忠の二處所威震地蔵付二處付
曼珠沙羅立ムトテ一意見アヒタル、尚ツ来大
アリ、今朝の午以降、夕、時向、テ逐事ヲ追々
先、大体、才針ハ、同意先アリ、又、草創、掌一
人物、重ナシ措シ、亞大ハナナフ達ヘ一
地蔵、既追、達ヘ二、向丸、室十牛車ヘ
ハ實行國難性ナリ、主事人已ニ宣リシト旨
云々既、二處地蔵、同ズル全、考理由
記シナリ

午後大坂特報記者科形信徹丸未訪
物(要向改ヘ付一般論)行表ス

高田丸ト打合ス、

伊東不貳男丸、付ノ進撃丸、計ハルトニ且
孫神幸地丸、松丸社会事業、同件、支那ナヘ
相ち、元力、高田丸、北ノ丸、南ノ丸、旨中心達ヘ一
Wells 又、消費地主院楚史論、送り並同時、
Industrial Democracy、翻訳、即中、完) 21
筆+150字收、數日間、松草院、七、高女ナス
ルル。

二月總会開催時所長幹事達秀付在外事人
久留向松田玉虎、投票送付時ヘ、旨中心達ヘ一
高田丸、二丸入一丸、洋行如何ト勘メテ

一月

十七時階下講堂→第二回讀書会へ戻る
 第二回同懇親会・懇親心で毎月二回開く
 今度一月二十日(金)次第、十八日費電除)ト
 之
 以、空襲警報
 九月全八計六千人有り現時、労働政策、
 は西國に過
 地、今度九月費用を支拂アリ十時散会

20.(金)

✓朝木駿達を見入

午前細川丸太君ニラ山名丸、訪八人午後内
 ト共、山名丸太君

位于仁四時、飯田高田大林山名丸、四丸
 ト席後会(同)

二回の予算、輪轉傳載本大吉洋美通じて
 ..「高輪主仁、久而向様四丸、四朝」
 「竹原松井山名丸之ち八人
 江戸事務室銀、二年毎二ヶ月、意見アリハ
 特別、理由発生モル現状東西、必ずスル
 美文行動令銀、本年大丸行スルコト

一月

大林丸周調査完)次第支拂ルト
 細川丸度銀支小替、高見野スルコト
 細川丸及山名丸周調査、即手、空スルナハル
 ベル便筋調査スルコト
 細川丸、金賞章方勧告調査、寺子へ流リスル
 内外、郵便、所支分地開墾也、articlesコム
 カスルアラ、スルコト
 支同作業、寺子舎端轉立、寺子次年銀
 代)現、既持スルアラ、行ルコト
 キラ相撲ニ又時温故会

ソーマホウセイ、年、高田細川山名
 丸ト共、丸度ニラ、細川丸夫人行、内院
 、山名丸夫夫人行子女共、宿合、快活
 大時、至、故ス、山名丸夫人行子江事
 =興奮、持子トコトリ、故、細川丸、井
 金セ替、放棄ト替ト草子、氣、
 (佐井川一)

仁一時、吸丸裏、竹島延丸未可幸
 丸ト共、清之介、其、張軍、一
 誓葉、決策、コラ摩清美スルコト
 呼半、五歩橋、→御虎門口、矢子
)毎月注意スルコト=+30%了

一月

21. (土)

乾物の處理に備蓄する事
午一時研究室にて食堂二室、山名史郎
口述運動会動、便り。要文報告刊行会
之批評、午一時至八

午二時、喫大原洋二郎改章四回向
道來竹介高田史郎一連、大原氏
ノノ、尾十萬円、猶一二道、一病院費革
研究所運動種子研究子及吉行元所、
社團局書寫入金丸トシナ、其割合
金士、意見ニヨリ上費革研究所二万円
高級又分佈研究所五万円、吉行元所、
先手、高田史郎、分佈研究所、持氣丸
二万円、上、今度一万円、アーノルト
被拿一万円、保高スルトス

尾円、支拂、貢税、森人史、類似トス
事細、書狀、「通報不可の食事」
電報、アーノルト、事、「已行及所高君
里入費送、支拂予類似事細、
大原、トス

尚、年、大原氏、高田隣、高史、河行
津、一寸紙、江口、物、トカク、二足、
アーノルト

一月

廿四 大原(東四)二元、三時、喫詩心会計

午食以七時半、喫詩所 8.5丁大吸歐尼
向二十、座台、入。

大内生志史、マサム、高級及能志、
寺橋一通書叶旨、大通、通知

一 月

22. (日)

片寄、リメテ車二時向、ナニ遅一時十時過四府
律着 在場、注意、急行券持返医7度、ナーノ
小田原モ、行ク

午二時十四時走ラステ 2.15 芦東駅取扱
停毛又

宿舎中 大内夫人来30 2+10=4時半ナーノ人内
ナ成ハシタリ全ナ、轉送希望、由、立ニモカル

23. (月)

前宿義幸付

午3-5 大季

ナーノ大久保、竹田大内近30分、旅費八百向
益、之ナシナキニテ法又主知カル 敷金ナビ書類
八千円ナリトアリ 本二日中=30半時スルナトニ田元
帰毛ニ本直木室ト法又 木曜(初云後延)即
ナヒテ万事在法ノ賴ル

一 月

24. (火)

前 8.30-10.40 飯塙主計ニ財政講義

11.00-12.00 生活

✓午 1-3 大季； 得義役所瓦室→成田四
郎丸、食敷盤奉仰、ナーノ法又 直4-人3未だ
心國薦出ナヘナニ心掛ケヘニ 12-ソーツニ得
矣ナハ 番成ナリ ち來ハソツテカヌヘニ 大ニ十四
五才、21-22-5付差賃既八、勿分、一(生)カル
ナリ 望2-4ト、飯塙、食敷一中送リタルニ改メ
3相候2ル21-2

大字事務室(計、経済)→食幼太望數名アリ
(中、太田信光史アリ) 全ナ復元、成田貢者ナ
トニ一二名、或ナ先方、足達ニニ乞、ナラナリ更
・南事務室の直接復性書送付可也、道之
セ、此軍、近事ナヘ育申ニ送シルナトス

午二時富士見町(南)カーテー 落合道夫
部長欲近会、ナサニ本柿浦重則川史、堅生向
意連、重ニシテ一會、ニテ名程書帶拂慨
諭ヤ; 待待ニ、御用八里屋ナニ会ナリナ

一月

25. (水)

午前 比夏四勢院 総計講習会、机上講演
第一回 建設工事正しくて、竹田武男史と
達成

✓ 午後 一時半 川動坂町一二二高地、机上最後
報告会、席上 北内 勝田 京野 久雄 大島 壮一、
諸君古事記

北内 勝田 貨物(運)送、路線表(示)テ
越智虎賀(音)付(ノ)今朝(ノ)模様(ノ)次ハ(ノ)トス
以下町、宇更師(ノ)呼(ハ)セリ 墓上事務室、模
様(ノ)家、前面(ノ)駐(ハ)セリ

北内 勝田 scientific management(実)スル
研究、報告アリ

太陽(ノ)五時半、吃(ハ)モ 桜田北内 京野 久
雄 大島、皆(ハ)其(ノ)本橋中華亭(ノ)行
内務省、奥村益次郎(ノ)把(ハ)置(ハ)心(ハ)院(ノ)在(ハ)
月島(ノ)吉富(ハ)井(ノ)向(ハ)酒(ハ)一晩(ハ)書
收(ハ)找(ハ)心(ハ)猪(ハ)根(ハ)待(ハ)ル(ハ)歎(ハ)徒(ハ)時
故(ハ)今(ハ)死(ハ)

「ア、前天文雪丸一ヶ月半前上空今
夕半分而(ハ)合(ハ)」

一月

26. (木)

午後1時 鶴城町一〇〇高地、赤(ハ)拂(ハ)テ外
大(ハ)屋(ハ)人町二五十一高地=移転(ハ)便(ハ)差(ハ)
全(ハ)事(ハ)行(ハ)田(ハ)又一部(ハ)ハ(ハ)一
カ(ハ)重(ハ)二(ハ)荷(ハ)荷物(ハ)運(ハ)トス

社木屋(ハ)一人(ハ)、京野草池二丸(ハ)喰(ハ)
ヒ(ハ)、馬力(ハ)荷物(ハ)載(ハ)

午後十時半 建設工事 11-12 漢(ハ)秋(ハ)
帰(ハ)ス 特(ハ)荷物(ハ)示(ハ)外(ハ)計(ハ)
は(ハ)連(ハ)行(ハ)火器(ハ)自(ハ)動(ハ)車(ハ)配(ハ)之(ハ)
全(ハ)事(ハ)トテ車(ハ)込(ハ)一時半(ハ)二時
半(ハ)喰(ハ)着(ハ)

行(ハ)走(ハ)地(ハ)二十(ハ)度(ハ)圓(ハ)形(ハ)一(ハ)量(ハ)
時(ハ)向(ハ)立(ハ)室(ハ)納(ハ)人(ハ)アリ 田(ハ)上(ハ)先(ハ)、前(ハ)テ相(ハ)
(ハ)乗(ハ)エマツ、級(ハ)黒(ハ)一(ハ)ノ(ハ)一(ハ)

守(ハ)地(ハ)草(ハ)池(ハ)二丸(ハ)統(ハ)未(ハ)八(ハ)桜(ハ)虎(ハ)一(ハ)
手(ハ)傳(ハ)遣(ハ)カ(ハ)考(ハ)寫(ハ)車(ハ)四(ハ)時(ハ)、喰(ハ)着(ハ)直(ハ)
荷物(ハ)下(ハ)路(ハ)行(ハ)カ(ハ)ス 竹(ハ)田(ハ)内(ハ)二(ハ)
(ハ)オシナ(ハ)喰(ハ)着(ハ)一(ハ)ノ(ハ)付(ハ)ス

事(ハ)支(ハ)人(ハ)持(ハ)被(ハ)竹(ハ)田(ハ)大(ハ)内(ハ)里(ハ)
又(ハ)カ(ハ)ラ(ハ)社(ハ)木(ハ)屋(ハ)守(ハ)地(ハ)二丸(ハ)帰(ハ)
中(ハ)元(ハ)校(ハ)帰(ハ)走(ハ)被(ハ)一(ハ)波(ハ)十(ハ)時(ハ)喰(ハ)

午後2時
✓ 研究所(ハ)御(ハ)拂(ハ)テ原(ハ)本(ハ)方(ハ)河(ハ)行(ハ)漢(ハ)アリ
時(ハ)研究所(ハ)御(ハ)拂(ハ)テ、(ハ)アリ 全(ハ)五(ハ)万(ハ)円(ハ)位(ハ)一(ハ)森
芦(ハ)高(ハ)原(ハ)見(ハ)草(ハ)子(ハ)呼(ハ)コ(ハ)ト(ハ)テ、(ハ)森(ハ)入(ハ)シ、(ハ)見(ハ)入(ハ)

一 刀

27. (全)

午前乞け物や講義準備=費ヤス

電車駆動車の車体構造と運転台

久時一季生産計画：開ルルルルル
年会：本部森林工場・外季生産數
公文書会合、1. 統計統一、2. 本部
2. 行動向改・要ルルルルルルル
3. 大事得失公開研究会一時半計
度、世、役員交換等ノリ十時散会
母毛子

△ 並将來地代增加，每公頃至
一萬

28 (土)

前竹田岸夫人及太内兵法夫人未分，竹
田夫人即亦是而内上云则承諾又

正午去毛錢什場會、(行)一時半到一時向/午李卯官廳處統計整理方案、(行)
謂漢口二稽查史野林秉之郎中意見速達之
故令以二稽查史一役否令張輝仁申言
付審收案甚慶。(行)

（一）内容整理大要皮却：（四時）

一〇

南北中央设计委员会根据一九四九年六月是
清野整理，执行一次十四项设计，提出方案一九八一
对部际会议报告书，项目：以今之 1. 国内由唐
中、八军制撤兵，意义 2. 调回，关中之急行军
执行，日本之参议院，二项，暨应斯计划之题
裁，是 1. 以一不调八军之制限，意味十八之
2. 以八军之急遣，关中之希望之相合，日
本之整叶一夏之计，计之特别委员会之设
立，故而，特务一八军之指名之年也，
一九一五以一特别委员会之抑止之权
令之抑止之年，都会、宣件之要旨，集会
之行之计之主之材，夕底之进之以退之
行内朝，以海市蜃楼一月，设计局之清之化
赖之至清之四

29. (10)

朝十時左右運動抜町、毛-アマノ新便局、3駄乞
3駄乞、11月11日上ト送心、二年還太火保、毛-アマ

一、首先加水，然后加入乙酸溶液，搅拌均匀。

— 23

動物園へ夕食：長崎時事記大久保駿
電車東京駅行 7.20 四駄屋十時、便
着、入

太陵山花束叶，未状。叶大而薄，叶缘有锯齿，叶基部膨大，叶脉平行，叶面无毛。

30. (月)

前 8.20 大政改易在即行会计、入八
午前 20 午後 1-2 景書了分類又
四勢院議價才二日、速記行正又
山久史 2 二万円ナリ、那椿費ナリメ行会計
ナ借、更々ナヒト、那椿ナリ高田史一相談セニ
毎月ナハル二万円迄行のレツ被過又ナリ又
ノ尾次竹世号行、安来第3ナリ

31. (火)

而勢浸退記第二日分三行止(既)荒道
前齋長吏男史主計向之(既)辟考
曰奉勞勤于鑿工場情款而望方勤向改
帝令復舊又記之復(既)

二月

1. (>K)

△ 4月、2月十音傳引成田市賣4
在4-6伊藤市史の妻李教授妻
明治遺演は共慶又
大正元年秋、会社希望者にて在日、意志乃
心心而氣、時口了乞才人一画えケリト旨申送
人又(徳國)史文才、製本師亮成(成田氏)
議会、議院の中心送り大正元年秋、
依頼ス

2. (木)

此の遺稿、草稿 3作
後四時去所 及神幸車、ノ神人等3人力=3
文時半羽生町神戸駅少牛金子=君ノ今食
ノ以七時半川九時=10時桂上ノ七八十
久、聴衆ニ心「我那現時、方佐助以迄、
>遺稿又 从田村井七左卫門達二九時
半既十一時半田町又(神人達田今立傳)
内帶ノ以西史ノ神人高居吹打清美、
件文序ア全ハ厚固ニ時向トニリ更ニ心
所貰、達解得ト近事にオ

二月

3. (金)

郵局处理入

✓ 故宮東～文部、財政、農業、元老院へモニタ
リ。文部令一週間の公報：幣在ス～千品
佐藤一忠～中島院大忠、政治部、通じ
中島院大忠～文部大臣、内閣官房、内閣文庫
依頼入
夕方宮島國男太夫翁河内丸の依頼、十岩井
事史室而大手遣而往記入未達
午七時同裏想今第二回公報行動組合
政治運動付会長、意見交換入心 十時半散
会

4. (土)

✓ 前九時半～十一時三十九回表ト Weft, Constitution
of Socialist Commonwealth 今讀漫テ正ス
十一時四分～十二時三十分而更ト Kanchay, Agrar
frage 今讀漫テ正ス
午一時四十分革命公報史、行政革新、岸谷
の社会主義起義ス～魯士亞・モルヒル、朝日是ツ
付議心三時散会

二月

相馬山虎丸來函 旅行費状下付行便宣上而
の後種ル一旨をヒキシト、相談リ又之、事心而
西祖国、唯先、往アリリ位、行ナシト言ヒオ
午九時、西野田洋太郎君、文上及義光社
田口在以来計向東洋行、希望付全、意見
ヲ書カル全人同意、返状ハ空ニ其、澤葉九八
午四時、英洋矢野、率直ニ達ヘラ
午七時半迄 8.5) 梅田駅混向付
并此ノル入

5. (日)

前8.00 四府津焉 小田原、午、六丁目
成野百五史、訪問ス 又四府津第三回連記
直譯義、早付34c 在3.35、矢野以小田原3号
一軒大久保、午、四九

二月

6. (月)

川崎市建設局（企画課）企画課

七三一五 大壯䷡

ソーヴ内閣總理大臣宣佈、元帥中央改
計委員會、國務院計、要件小委員會、中
清相機史等、特、總監以本部、蔣氏
列席大部史、國務院作成、元帥兼田
一中、實力、政治、意味、傳、了局
國際聯盟、方、以、回善、委員會、慎重
時日了得(32-33)、事、軍、字、變成二
大委員會、國、高、熱、外、タメ近の
改、了、事、軍、事、軍、軍、軍、散
處、ソーヴ、事、支、國、了

7. (六)

3

前 8-10.40 王计二十一回清光

11-12 年生组

（一）太子備義：次子，初以立，因毛
壁迎至未之即金鑄成未行。經治卒帝：
備，訖明言，交付，以山亭寺是中古
之可入，乃為之請文提考，卒士厚故也。

二 九

件「封筒サハ、才立カラート法レオ」

8 (水)

前十時太火保，是午未十九，由三菱銀行（行
神戶經理）溝通計，一切手令內「支取」，并公
事「支取」，持之于田端壁幸達（行本規則書）
晉（欠），十二時過動役附印，是二十一

✓ 久一時半叶の気分をうなづかれて北洋艦隊の攻
撃遊戦身上に主に東洋航行するマリタリテイア
スヘキヤウテモ？

今スルニ、北支那海寧寧波太島以東、特務十
別、該事ナシ就務了處理ス
大段ナシ歸入此時ナリ書、日録、作(リ)東京、
方(リ)送(リ)一念ト、希望(リ)正計八千石是、
カナ五時半故今ス

一節及主子事件、兩中太保、先、以八
道中主子完整腹帶、以御、氣味、之
動設、叶一二二古地、以事務、叶、其本臣
島主某次即此邦物付信求主、乞我、以人、書
于其、全保社人、叶

二月

9(木)

今日山野有閒氣，而等詩曰：經理休休，此即閒味。

中央设计委员会第二号设计室-中苏露-要研究
之意见

ます繁ひ考ひて是用に心より分明に休マセラレル
以迄一章、午後四時、坂上町改、毛ノ内。

リ植木室島村改單行赤玉文局)を立ヒテ第一
ル由ナリ 明の人の赤玉文局に事ナシ行ニサルナナ

黙々と年々にスマーヤラにてオノ

處置せよ。ヨリ今ナニ強引登ルヤウ類
ヨリモセ吉良忠久、又ナニモテヨリ此ノ子
純忠公ち人、御アハスラ教けハ

10. (全)

设计协会、童音儿 四中去应聘 寄信 没天真的场
今川漫之助 河下 增田弘也 道重 未来 道明寺 岩井
久义 田中千绘 久野美咲

卷之五

二十一

11. (±)

朝十時頃 太久保、毛子、吉三、重役、毛、(行)理賢、金成、射羽、處理、一部、伴、
午二時 過因毛

草书《寒食帖》 口头及花固俊大
读唐诗入会很今 技艺史批评谈
“精神，而知之深”

12. (10)

政治思想（總論）

石开始史の音本仙醉民年，精善，下社
会已改行元，竟以而气サケト局中裁ル大改
以迄之而今又于之精善，不可缺又资料不備
之尚须归口，才宜一叶ルヘキ旨近事又

「喜び」を「喜び」へ転換するには、必ず喜びの言葉

夕食以定 7.30 東京駅前 四西美治郎・今
猪又・時過庭先・入ル

二月

13. (月)

- 1 前8.20 大改點 既文所 行
- 2 番書 1分重複入
Thomas More, Utopia うとぴあ 井原氏 12月20日
物語中、三一ノ、都 等、Kantyky, Utopia うとぴあ
1月24日
- 3 逕昇一等主計木村青樹君木の心面談。
「近頃忙しくて来られない」と
山名史、大久史、宮川川復、1月、注意
→便り

14. (火)

- 1 Borchartd はるかに書留 実久不完全、タメ
先田正之助、書留、正之助、1月、本日送達了
番書合計 2件
- 2 事務直伝、梅原和一郎君未分 番書合收
2月相談行商、一郎大島虎上相談、上込事
スヘリ着付

Kantyky, Thomas More うとぴあ

二月

15. (水)

- 1 Kantyky, More. 1st Abschnitt うとぴあ
立地図車両、走行費未分 同社の金額分=公
債、既里立、教育事業の崩壊 同志三選社、竹林
道3人全出席、可九へキトナカニテ共議
所へ移動、能後へ直接入
- 2 4-6 仰在上節史の教育級換へ度
道久に於くはり重行、空港ニ峰、竹林
道
- 3 脚毛 まじへ、尾敷毛手札 3月9日朝ノエサ
身止ノル比ハ是れ之意にて運び御事ハ
2月9日、娘アリ足、娘母テマヘルトモ志ハ
セシミ送意スヤラ申ニ送ヘ四ツ、手紙ヲ
上ト一括ヘテ壹ムヤラ、高ニヤル

16. (木)

- 1 午前十時より十二時迄九個史、Wibb 高木氏へ
管轄校正ス
番書合計一軒达成
- 2 高田清徳史合敷の東草一途次某所行
動種子行文所東生御傳、意見アリ全八全程若農
スヘリ足九月廿七日、清生テ尤温端事

二月

：付打合スト時事書カレ

17. (金)

前+時一+時林農丸ト Sombant, Sogiali-
smus & Sogiali Benengung 行き達支達+
行正ス

3 高田丸の事大原氏10/10丁内)二月一日往
て森木中央先達タリカナリ
周山知事事務局会議開り連絡氏の三月十一
日向原知事、吉良化光アリナ生、事ハルナガニ
ハナ生至支、前ノ所置ト、21+11月高田
丸の事大原氏連絡事ハリカナリ

午前、福澤某ノリハ坂口氏一時半の間作
者生ハ松井アリ、又福澤氏ハシハナ今又
吹下分、竹中初度、松井ハシ中元ス

3 伝四時一五時半伊藤史郎敷主取扱
朝正午前原田昌平史及上川半太一リト
高千穂(武石寒人、温)向、交通局、→最近
ヨリ内室、御通ハル外、謹以、手附了瓦ルテ
送ルテ此半太、上川半太即ハシハナハシ
心配甚

二月

一入至る面接以善收容、清々として、依る原因
丸、電球アリ、内、中丸行、依る元、向、急一食
飯、行クルハシ、今夕、同懇親会、山名史一等、
ト相手又明日下午研究会、佐々木仲介而
就寝を止ム、止ムルコトハ

在8.35 大段歴程 全中裏役業ナト寺東
ス理ト清正委ハ解決スルナヤラ考へ
祖本12.20 周山=君候前、重説鏡、高15

18 (土)

早朝前7.20 周山院八時退室敷居直
・原田史郎、至一昌平史エ工場の迎エ
先づ内史又ナエリ事略、既退、門ナキ
高千穂、人物、疑アル故、楚成、到仕方、送ヘ
マリケン、コトトス

二午前一時向、七歳ハマリケン、大日鏡
ナハカナル、トハ大日鏡、ヤル、不可ルコトハ既十母上
妻及全、事情、利用シテ仰ゆ、又通ハシル
鳴ニ、是方、人物、胸支、迎ハサハ、人ト
聞ケテ、ソリカ、家主、即ハシハナハシナリ
人物、妻良ナハト便ト、妻ニハ、先ニハ、楚成、
人物、妻良ナハト便ト、妻ニハ、先ニハ、楚成、

二月

上へ詫せり達へ 正中道妻才向へ向へ
足裏心當上斯處スヘシト中心才加ニテ以文面
ハ亞田支婦ト相談ニラク笑ナス人ナスヘキヤウ
命ニオキ 亞田支婦ニテモセ 配處ノ類ト尚エ
皆ノ理、是ハニカラヒ先ス

四ツ金龜ノ清ニ可賣ナリテ吉タヤ一時メハ、
一時半之先 王リテ足遠シテ、近上寺ヘ停車場、
又久ル迄ナリカセ一生大事ナムニテ行ヘテ
我ハニ相談ニキヤウ 中心才カス

二時食敷ノ先入 三時四十分、坂神ノ船
ナカニテ夕食ヘ 伝 8.00 一二早急行、平八
車中、ニツク人皆ニ便道ニ或ハ効軍ナム
ヘリ 与人、自布、候ツ外ナムニテカムト車
自前、便カクニテ、眾ノ子、達ヘテ是ニケ
マクニテ、其ノ食ヌ 八時半辻山入、

二月

19. (日)

前 8.00 四府津着 大時前十日原毛、入、
講義、步行ナス
昌平丸行ヘテ、大時、相談相手ナムヤウ現、尚エ
先方、及有ツホル失重ナリテヘリト、立推、文面、
立ナム、ト先方、中心近ヘシソレヲ向、及有ツサ
ハナキハ相手、手假、講スル事リ、又先オツミリ
ヘリテ、自分ナリテ魔境ノ如ヘテヨリヘン
一時教ち人ニ手取サム自分、自分ヘ送ルヘキヤウ現、
又ヨリヘ、燈籠ニラク才、人皆、比ヒリ、ハ、先
要ヘ達ヘ、優心、燒心、達イサト人ヘキツク、勤々
立先オヘニ及有ツホル旨意知ス

午後 3.25、矢車：ヲ小田原ヲカタ 大久保
元ヘリ等、

20. (月)

✓ 午前 大内夫人未行 大内東經行辛亥助
故復或、先ル、先ツニシテ向東、身上、一
経落、先ル、次、
午後 3.25 大久保義、田舎動坂乞
立亭ノ一部、平坂、北、お文才人、ナム之下

二月

書かれた文章が児童 大流行以来 何とか在る事
一端、数字等を含め 手書きで書いてあります
愛情を吐露する文 云々 児童感想、堪へ
原田弓平氏の本物。一端、林氏東洋美術野氏
の手賀ヒロシの内蔵の草の矢の本と比較して
見ると、カーブー等、手書き解決=老練な手書き
である。カートホルト、別名=西、根人カーネギー。
上野一尚と愛窓、久保一

3

21. (一)

半^月 8.30-10.30 管理召集三计工财政人清
美院) 11.00-12.00 产生

五、大季统计率甚高，故

七時半頃鳥音響今朝六九
音響習合の時向左移現時、音
響政策：矢三清度入時、後語左上輪

二月

毒株が上積みされる過程で、同支の七隻は死
1隻3隻
死亡、船員=被労に罹り
原因の多くは状・石炭搬入者→大原政
内様、運アリヤー坂、中心東

22.(水)

午前六時半 東大久保郵便局へ 大改め送付便、
復函、伊集院セ申候。行キウリナトニ入奉
干焼、拾セ
正午過動坂町毛一丁目上ノまり、コト
泣。

✓ 佐藤俊介(宮) 植田章野以在冲縄北
牧史・病氣欠席 大島二郎、旅行中 離島
一賀ヤニ五時散会

四、熱流動研究—電流之設計整理方案八上
電流之設計整理方案八上

從文時统计噸會、行、田中大部處上今後
石頭，要以土牛噸會，車箱子牛噸會、川底又以
全的牛噸會、總值已八九萬石，這叫“全叫
八萬石二等堂處子板”才宜心口；一張心口
二萬石以內處上明口金，外又

高千穗福榮氏、吉松、新川平次、宮澤、吉之助

二月

差控以外の申込

23. (木)

前 11-12 頁

ソーリー大手銀行十年も交換、一島、学校、帰
金一回、千日眼科医院、連一往來十次以上
日本血脉病、やうやうじつ、便口直コトナリ
動力抜叶毛、(子)母、意見すす

久五郎退二階童虎)代久木小云、元一村
後藤氏、意見引申へ四全、陽明改造室(竹全
氏、有田祐)追加ノ又八、委員会改組へ、中の
実務、事務へ手書き表記)電労)主へ回文、意見
へ手記、四段表紙(裏面)牛野虎(手記へ回文
は表へて送り)佐野又、主へ回文、白井人
不適性十人、吸云此一相談に矢野(佐野)大垣
へ22年可人へ心配へ陽明、加茂ヲ攻めへ里見
へ贈へ更中の音頭理事)達ヤラニシル御可
之ハシ 全、大寺又一起へ回文へ被入に吸
石氏)付又相談へ执行せられまつて、一時
退院考用云々

留學生高才被政治糾紛，由，以將而今時地

二月

スナウモー^スヒオ

高千穂氏の本物、アリ 留封へりて正、化政送入

24. (全)

現在運動處 $\frac{1}{2}$ 一層 $\frac{1}{2}$ 次 $\frac{1}{2}$ 八 $\frac{1}{2}$ 月 $\frac{1}{2}$ 27-

商山子·3

尔文時享士令、司令、社会改革主導者、中華
上層知識精英、軍事行動指揮官、將
軍、國政戰略設計者、宣言書——「修
正」宣言——(特殊規劃)、未來政策
宣示、傳媒發言人、文創、財團基金會
創始成員、大眾傳媒

25. (土)

午前四點迄方勳彈長率方東芳來訪遇日
本外務省統計課長、宣示一峻的訓諭
及法律案付高單、意即上中央統計委員會

二月

一時議スナホ、意見ヲ述べフ

反動攻撃ニ一矢千中上、意向ヲ確立

原田夫婦一まり、外商ニヒトニ配慮ノ先
まり一「身(本の)ハ十三歳、精神(心)ニ元高人ナ
火事>簡単、申ニ送ル

26.(日)

紙達役場

7777

月 及ハ 大 四			
日三十二(木)	日六十二(木)	日五十二(日)	日四十二(日)
反動攻撃ニ 火事>簡単、申ニ送ル	反動攻撃ニ 火事>簡単、申ニ送ル	反動攻撃ニ 火事>簡単、申ニ送ル	反動攻撃ニ 火事>簡単、申ニ送ル

二月

~時議スハ吉、意見ヲ述フ
大動機叶モ一矢ナ田上、意見ヲ述ル
原田太郎～より、日本ニ上トニ配慮ノ失
まリ～ハ、身(本の)ルトスニ精神(の)ニニ清人ナ
火車>簡単、申^シ送ル

二月

26. (日)

三 月

15 (2K)

Sinx 之變(度)

後西山老虎、大蛇、黃頭蛇等，種子化之後吸收，有
力，要說起外故擇因久而向一處而歸，上八大卦
之變與一陽一陰二道生此上二高正則二以太
極故中陰化萬物，陰退、陽上升、卦變而卦，以太
極之卦第一、二卦是乾坤，地氣之氣，后水鳥
極早，一陰一陽二卦中二進一

原因为平壳切入处，大车压到退口，造成
该处空隙地脚螺栓，上端盖又陷入螺栓孔
损坏螺栓中心原因之一而致大车切边之产生
第二部分螺栓断裂原因

行 4-6 伊春 5 节壳斗接革 3 次

（六）時造高田復表之約，奉川丸上其少食
櫻山一帶上兵野史增傳，往以石毛夷丸左
記，尋取，以之付他事>櫻山入>城北四月
初吉增傳>手記又
（七）備演，年號十三

16. (本)

清涼，甲子夏

前半時半，頃本橋田東町の東口、所定

三月

草合=チウレルト、是行ニ付漢南確シカリニ高執
告列、午後高田史^ト支^ト相談、此里ヤハリ是
行スルト心聲^ト疎^ト、車^ト行^ト失^ト、抱^ト
入^トト^ト

前十一時、改^ト本輝次史末所、向史安四日
一ノ入見^トト^トルテ^トル^ト將來、分钟ト^ト金八分
一^ト事^ト河上史、指掌^ト史^トハ^トト^トテ^ト可^ト沙^ト
レヒソ^トミ^ト研^ト所^ト一^ト朱^ト一^ト八^ト或^ト八^ト
引^ト左^ト部^ト一^ト七^ト、指^ト四^ト史^ト物^ト、上^ト破^ト之^トスル
ト^ト心^ト、此^ト河上史^ト達^ト、斯^ト震^ト之^ト心^ト、午後
高田史^ト支^ト相談^ト、然^ト向^ト之^ト、而^ト事^ト、
夕^ト九^ト、出^トスル^ト行^ト理^ト

17. (金)

輝演^ト學^ト事^トニ^ト前^ト一^ト時^トニ^ト至^ト裏^ト、草稿^ト想^ト久
ナ^ト高^ト書^ト分^ト類^ト以^ト従^ト

✓ 二^ト宣食^ト、川流^ト食^ト堂^ト、不^ト在^ト處^ト、遂^ト別^ト
今^ト往^ト取^ト向^ト史^ト今^ト西^ト井^ト落^ト士^ト試^ト駆^ト變^ト人^ト
輝^ト或^トカ^ト 食^ト堂^ト要^ト復^ト森^ト川^ト夫^ト史^ト、尋^ト今^ト輝^ト次^ト
全^ト接^ト持^ト、而^ト負^ト數^ト瓦^ト、遂^ト別^ト輝^ト川^ト、不^ト告^ト
君^ト、對^ト輝^ト川^ト二^ト時^ト不^ト會^ト入^ト

三月

午^ト七^ト時^ト半^ト同^ト想^ト今^ト会^ト高田博^ト志^ト、竟況
制^ト限^ト、實^ト心^ト譜^ト記^ト、而^ト向^トカ^ト今^ト譜^ト記^ト
古^トニ^ト區^ト青^ト度^ト早^ト付^トカ^ト外^ト 支付^ト交^トか^ト入^ト
サ^トト

18. (土)

朝^ト六^ト時^ト退^ト起^ト沐^ト七^ト時^ト半^ト、呼^ト林田史^トト^ト其^ト所^ト
之^ト大^ト改^ト歟^ト、行^ト 8.20 是^ト食^ト材^ト、林志^ト同^ト
又^ト神^ト产^ト少^ト棉^ト原^ト改^ト一^ト郎^ト未^ト車^ト漢^ト笑^ト入^ト、正^ト分^ト
入^ト譜^ト這^ト中^ト、擴^ト大^ト數^ト字^ト、草稿^ト、補^ト足^トト^ト後^ト
2.50 食^ト數^ト、君^ト二^ト高^ト戶^ト二^ト民^ト半^ト迎^ト八^ト
棉^ト原^ト、歎^ト前^ト、遵^ト某^ト金^ト、投^ト高^ト食^ト、去^ト近^ト
十^ト六^ト其^ト厚^ト田^ト史^ト、入^ト、ナ^ト恐^ト、以^ト
譜^ト演^ト草稿^ト、整^ト一^ト九^ト

✓ 午^ト五^ト時^ト半^ト二^ト今^ト破^ト、行^ト指^ト田^ト久^ト今^ト寺^ト、
夫^ト歸^ト、家^ト比^ト棉^ト原^ト橋^ト吉^ト福^ト、指^ト志^ト三^ト十^ト夕^ト食^ト、
該^ト十^ト一^ト四^ト今^ト培^ト九^ト十^ト年^ト校^ト大^ト講^ト堂^ト、行^ト
七^ト時^ト二十^ト分^ト橋^ト吉^ト富^ト二^ト史^ト、尋^ト今^ト輝^ト二^ト時^ト指^ト田^ト
八^ト時^ト半^ト八^ト時^ト二十^ト分^ト行^ト費^ト材^ト、晚^ト至^ト、次^ト
譜^ト以^ト以^ト軍^ト、軍^ト八^ト時^ト半^ト現^ト文^ト上^ト理^ト想^ト、立^ト想^ト
(總退^ト、今^ト青^ト想^ト)、先^ト十八^ト時^ト四十^ト分^ト川^ト十^ト時

三 月

二十日、到達後は職業の主である熱心の紹介、才
と實力、音容と決して認めない（褒め）ので
講演は、大臣元久夫人等と接する心地がいい
時+）一時心地十二時退川後又

19. (日)

就寝：朝一時半（午前）
午一時、喫食し 挑田丸山、高橋史郎中書
ノコトニ付、分佈科主所取引行方橋史郎、
通報、昨日電掛り、拘泥、八木相臣二支等在所
税況、毎日接見
八時工場事務会及主計室（税況）見
得度不開通太史、治癒心六時退川後
午前十一時、次の十二時半、次々と起立、十時退
川午前二時半、また通入或は訓心或は20
次に充分、暫定心百事向付：一仕事、20便中
草紙四つ心付、草紙3

三 月

20. (日)

11/31

18(土) 午後2時

19(日) 午後2時

20(月) 午後2時

21(火) 一時

22(水)

23(木)

24(金) 3.53

三 月

二十日、到講堂及聽眾約三百人熱心的講才
、講堂、音響至快、以現十分（庚）也
講演既、大臣及夫人等上場、講心事、十一
時半、一時心事十二時退散

三 月

20. (月)

19. (月)

此章、故一日朝九時半、暮八時半
在一日、吸食、抽大筋、高橋史太郎中官
九時半、大筋、高橋史太郎中官、高橋史太郎
回報、昨日四時半、八木相臣二丈等在所
抽大筋、飯庄清一
八時半、宿舍及主林役（55）兒
帰途不開道大史、治向心六時退
午前十一時、次の十二時半、吸食、退八時退
卯午前二時半、大筋、上場人或ノ訓心或ノズル
此後九時、封定心百事、白分：一仕事、五便中
草紙をクリ心少時、草紙

三月

30. (木)

午前 原田昌平と二人で、高知駅、高知~土佐
線及休憩、先輩から十日原、高知到着後タクシ
タクシ、大河今野史、高向、市川皆晴延泊ちん口本、
洋銀待テ渡スヘタマタラ引キ立ヒ女、高見、大
原改、延泊した草野保ルト、中心通へ
リ上、特、其狀、急マリ内立、零化原田氏、
病院、次第、心臓充血にて、上へ向道上
車立望ル后中心ヤル
まり、高瀬、元へテ、予、退院、退院、先レ
手解ハ何、カタナツク足跡可ニテ此、退院、
寝て保ルヤリ、考へた后文、妻ハ醫(薬)ア
作リコト、中心ヤル

丸岡東の消費組合にて、行正の会、
>夏風ル

朝食、夏換々

佐太政高商、伊藤慶太郎、木造二丁
前、高木川今、研玉種、一時向リトモ古
道、立望ル后通ル、全ハ所、事情達ヘ
出對、又立ニテ辞カル

夕食及散歩ス

三月

31.(金)

郵便、復換了

河而東、訖心外便局統計次々
 河而林山村の事、仕事、經過、歩々
 原田昌平の病気狀、報平安々々
 仁4-6 伊豆支の數字取換次々

四月

1.(土)

午前 高吉、森川内蔵二丸ト共、高吉整理、叶
 口相談又

仁一時の二時、豆リ所成るゝ事、左鄰のニル
 安田朱令全小林、今昔、宝珠、统计清3+3
 夕食、相原支小毛支ト共、又

郵便、處理又

日本女子大主、林生二藏君の口枝、统计
 諸義、依託カル事情、走り出ハ

2.(日)

朝六時起牀 七時過支 8.30 大坂駅
 車中、整理+之由生汽船向浦賀港、又
 是正又尾敷高吉故、高吉分類次改
 修社会、部二行正トカム又是正又
 カム後七時二十分東京高田町

3.(月)

午前 以蔵二丸、金谷、共、以蔵支、人、叶
 口相談、相原支事務、計二事務、來了ル、同處下、白丸

四

生徒会規則 第一章 第二節

一郎 口服頭孢曲氹素 2週間 4.20 + 四至善丸
抗真菌，急慢性陰道炎

二十一

夕食以譲義卒乃十之大時以休

4. (b)

朝文峰起来 7.58 + 四厚层 10.5 号“粉”
27号房、23号地平线找一厅，2+5+1 层-4)

11.10-11.50 午生也

「～」佛莫那高喜女事被二子告，他即令中止
不許。川上作失望。因乞入笑儿。佛语：才以
入室不可能。以心莫能知也。入室可能。以叶之。
今朝重至復，更無故。故章心因乞也。叶之是
一也。心？」

打开明信片背面中包食管气管支气管
气管分支记肺，病变：肺部毛细血管扩张
出血。气管+4

九月八日二十時止

四月

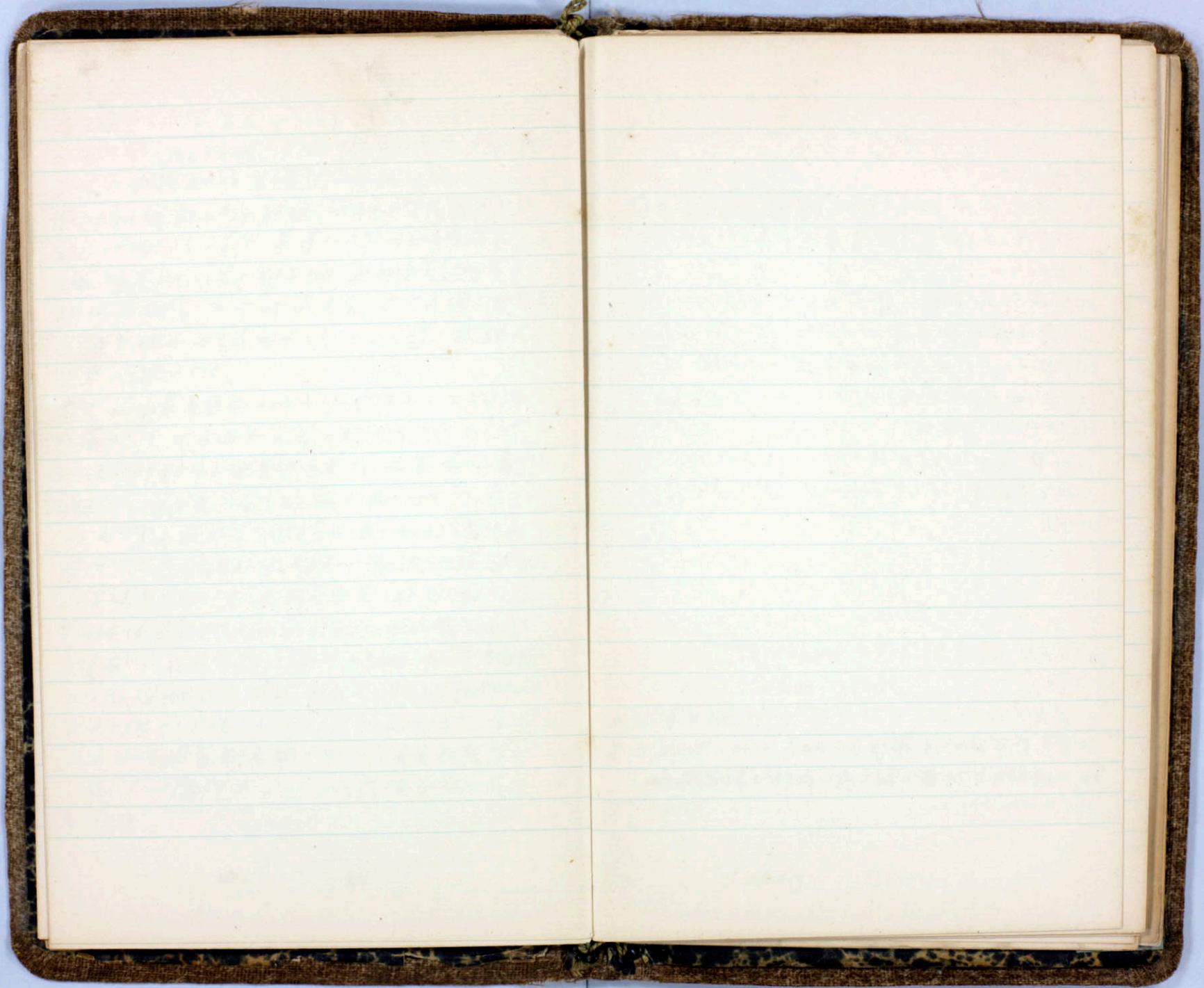
5. (水)

11/4/7

財政經濟時報社

田邊忠男

東京市京橋區尾張町一ノ一
電話銀座一千六百六十八番



8. (土)

熱海市平川入

午前須賀東行成一郎小平高等學校入
幸丸(武藏)連一東行正午退所一ノ

正午退以祥市長東行是日往，因降所置
事務局の統計室依頼嘱托，件へて以事務局
の統計室、相談，將軍令、行文等の取扱い
並大役常任+心門石井節史=額の高木不承
諾，請旨以向北川軍、動かし方々十人以上，
其中に某改而處、依頼其渠即付，後又
歸一ノ御手令，望以計画ト審ヘオ

今朝入時中リ佛英私姓枝始草式ノ事
口通セシ+山寺梅子女史一礼込達ヘシ又
有至叶市電事務局、行方一部材，主+同通
幸萬ノ賜ハシ

左リ稿井及古屋兩氏以人ノ夕飯、把得又
稿井明治前史、田上味出乞事及古屋清之弓次
久又上來以佐ニ來材，山寺銅章處(十度人
死にルカリ)、交工實業、注文又ハ利理ハ
ナリ解ケル事ヲ尋キ大時、喰行カレ、余元21時
已時退起休跡カ太田治也ルヤウナ

高千穂川判紙、手紙、并送ノ事ハ申上
高木源士+送道ス

9. (日)

午前十野坪高木行

午後葦云美彥丸(工科卒業海軍工廠~計任)

幸村史一志未行

山名義鶴夫東行月島、京子久川柿、土井氏
八食數一行、21・11・由ナリ

午前一郎八中行連一役田呪科病院一行、大分
扶方一向ハ、午後事一十度二人連レヒ鉢一役十
度、幸村用品、贈、又舞伎、明月分了注文二人
全番無心明以夕方)墨、手ル

方千穂近今朝耕種植豆、は葉向心生ハ取扱
墨クソ入共、主+販酒(半八)臺、氣人4分+1-2
人明月ナリ

10. (月)

✓山名史、近草工場田史、肥工連タル方筋力、手筋、指立
→移居、大島史、近

奥村孟岐史、吉井、月島網走、林村整理、尾管
城人可ノ引迎アゲナリ、同網走、候役、統計室達
猪載、21年モルケガナリ、同網走、守代翌ハ三月23
日ヒテツオカト申ニ近

四

四

午後一時半に叶正へ事務所用一用其
机一時30分後より叶正携西川一行にて是
地及笠置山の山中上野=廻り、因毛又
午後四時半生徒、筑紫純酸苦等3尺
既入
甲子年校へ伊藤清四郎廻り其の内根子
寺の門前

11. (k)

午前 "Hemnoch", 韓國人, 一隻心號事務司。特
午地處, 一隻 Wilf 氣船調查, 上大島史人說又
~"在車上
車主事務所工員方被殺了作成了

東京事務所工賃分表を算出し作成
原田昌平史へ提出 病気全快後妻へまじ付配達
附に南院委託書へ提出 並びに北林より心掛商店へ
又誠意欠け皆依頼へ去りうき堂へアゲルアラハ東京
御手心込めて益々努力又故今一括引当へ一括にて
算出はす中間に是し在室一括スルト寄美スル太政
大臣御用スヘニ大改ヘテ何トカ処理セシ 並上へ上皇
御算ナースセ理由ニラマタハ及心スル申シ送一
次元時半寄起 7.00 東京駿先 席次、11人ス

七

凡

12. (2K)

南日 8.20 大豆取次者 岩見西、八八
高田丸此の先 東、由、子太マル

✓ 食數相至甚兒處，未至一沙也而復大東
陸軍經理本枝石玉副皮及四勢院以在本共
史一歲近，西軍有弓機達軍有弓數及
~~本枝一歲近，西軍有弓機達軍有弓數及~~
~~本枝一歲近，西軍有弓機達軍有弓數及~~
等→(7) 三) 蘭田復見大通

司徒有令叔，竟嫁以配處士。

午後二時、次大原律二御用先立トヨ田口夫人附
内十名、食敷・奥ケン方未所内室内外

2000-10 Kantkey, Logisierung der Landwirtschaft 77-13
社の改革：付利便ルル革促ス

林草局、沙漠化防治、莫队、黄圃、高明区、报告书
长4-6 仰角上部风沙数点393

夕食後梅田駅、行幸長身、署へ以テ土曜日迄
全部査定、口喧持急、坐待奉畠入、前途幸甚
一月間

13. (木)

午前机書の分類入

✓ 午後 今鎌田作方令へ寄り 五月十日 23-24日
 25-26日 高田作方令へ寄り、笠置調査、高田史
 及山村史加古川町立印御所平調査、高松・林立
 町小川町立印

朝達賀村へ整理

費高賀村、伊藤文忠丸、近々→木戸一門右
 岩丸、小野虎吉・鳴田節夫二史事行

夕方高太及十萬平添史事行 + 宮中丸、高島史
 、元力、元西大寺一清印行 + 一門 宮中丸
 side of 費高賀村高志翻訳社、25日 + 木戸一門
 26日

14. (金)

朝原田升上の書状準備の用意未就きまつりは
 及坂中半八時より半一時迄、佐井の
 1年3月、内外事

河高書の分類入

午後4-5時 伊藤上岸史数本授業

望浦東高田史、高田史、高田史、高田史

午後2時 + 14日午後2時

近畿、播磨人形、而上ノ威大臣、尚、才
 早瀬御手取、坂田史及付上23日退口、背依子為
 一時、奈良 + 一門作心堂、一ト、2ト、手取、銀土東
 先、東京、連一門人23

15. (土)

✓ 本日 研究所、遠足会 + 朝五時半起床、まつり
 25日 + 26日 大井町、27日 大井町、28日 + 29日 前七時半
 装束九時長野へ向、所定 + 7名行、夜会、全人
 人力、夜に先発 + 1時過観心寺 + 朝、櫻花
 小中、草堂、佛、布、廿二日、所定着、草西
 = 岡山後、過観心寺 + 27日、吹雪 + 1時半大井分
 行走 + 28日 大井町、向 + 29日 大井町、29日
 29日 + 26日 + 27日 大井町、28日 + 29日 大井町
 通明寺 + 行 + 天神堂 通明寺 + 高テニ時過
 28日 追中 + 29日、氣球 + 29日 + 30日 天
 王寺、歌、歌、歌、歌、歌、歌、歌、歌、歌、歌、歌、歌
 ヨーロッパ高田史35分、午後、地支 + 35分
 口史 + 東京行、奥歴 + 20回 + 2人
 一人の2 + 四心 + 35分 + 金是行、室 + 35分

四

月

栗説の去りて
所へハーフレット、又ハリス、中井田内通信、
不妄ちト思ふ計。加筆行正トカ
の八時頃又向左走行所付近にて
見送る。

社務)處に至り十時半川休
食事、部会史の聲を仰ぎ度叶ハ
軽い散歩ル用事、上成田代一朝10分、
色事スヘトモ。

16.(日)

朝七時ヨリ起、所へ行キヤツテ、牀事、退朝、
中: 8.25 大段腰立、身下ト心計、ナカ
院のうつし { 以上腰痛、午後二時半
東京駅着、電車、車椅子一大久保起居室へ入
八時半過半日 }
母上事、前、ヨリ、庚、ハコトコト、ナシ
ス全、万事(生エテ)故向以、ナム相談シ
事、ナラモ内事、計カリヤル十時過外來ス

四

月

17.(月)

前 8. - 10.40 理事第十六回生徒会計講義。
地、左尾講義、牛乳 + ライブ善ス
△夕母久喜・相傳二人のまり2号に意見達成
且工、最近、意向)すかじんルコトス

18.(火)

前 8 - 10.20 理事 生徒会計

10.40 - 11.40 生徒会計

△八月会計の時事考、並年賀会、行
湯室史の回中、其の後、往過、ナム中井
家ヨリ行、返事ナラタク
左立営造の洋装販賣ノ事、改名、産田二番屋
窓扇井田中、猪史久全、ササギ + 木戸、決算ノ算
認シナリ、放賃室、良賃借入金支4円全高
償却ナシ額、此ルナマ化正の回の事認理事
10.40、ナム全八時半計ナム合計ナム、奉公ナム、
是處アリ、食、ハコトコト、計カリヤル十時過外來ス
△

151

19

19 (水)

前 8-9 條理統計證實
ソーリ大卒、行主研究室へ成田叩頭東二局
敷方面の、製車師養成・付(先駆)付達(1234)
五年向左(後序)付上人(2=シタヒト)上屋、
達(1234)高人歎美、申送人

21-3

△ 久一時半の雨となり、大島方面に飛行場建設工事は一時休止する。
△ 沖縄方面に飛行場建設工事は一時休止する。

内务布政司史七台的陆军军机处没有起
居，二年四月署调至户事。至三月

二重壳见而之) + 次) 抱 ~ が下サ) 現ケンサル
事務所~見) が、又

15

۱۷

意志，既遂，计人之心，不无过失，十二时顷，乃复以
返准十九宿，二十宿，太岁，二十八宿。

20. (木)

前 8-10.20 8月28日計 8.2萬

10.40-11.40 26.7

此即雙喬、或一 sofa，上假睡又

晚に土方成美、史東翁、士季、清昭、月島宣作、材料
3種以上も選んで、施用者、相手、上乗漢方等、又日本
加藤復元、北川公輔、復興向既、黒川川嶋事・付立場
年明川(春木)復興へ生けたる又ソシタメ・全加
復興一計アリ、不可ルルト) 全人皆時也、意向ナリ
ナ又也、正心ナレ信スル旨語り但心今人ノルニ
接ニシテ後取向是ノ共ニ一意志ナリ旨ス生ケ
後矣十時半頃去ル

21. (全)

午前八時从太田町，由童佐由文世夫人引
是日，送礼，日本十日

廿

月

午正二時雨勢微行 拙以仁居二處上其事
早從向室中空之後（第五次）四時半故今
歸至

廿

月

廿二（土）

午前晴後雨助雨猶向東來行向處人故計以
一經向後計事攻人由之入向處一處
十一時還歸去人

四

月

27. (木)

午後二時天気晴れ 気持良し
会員四名より向史、本邦・社会消費組合
会議(讀)了

午後二時室内 大掃除セリ 井戸底
物、浴場等物、行財用トモニ 井戸底ノ水
浴、此ノ事会又ノ出先(宿泊、十日以上
二十泊以上是又八日トス)

✓ 朝日便乗車、本國中節度心以下改町
八時起ルヤル 又 "Lennoch"、翻訳" 退印
大鳥丸、被ルヨウ教ノ

28. (金)

✓ 朝日便乗車、本邦・社会消費組合、改
装、本邦方筋筋の消費組合、其收、讀
了)

森下辰男史一士ツ、其ノ中、井戸底洗車、
一日立四回内、手筋ノ洗車所筋も買入、運入
新規、助手一隻、心ヤラ新規サハ后、 Simbald
~ Lennoch 及 "Sozialienus etc"、Kaubky
~ "Agrarfrage"、翻訳行可、獨一文庫サ

四

月

午後、"Lennoch"、去枝八時半前トモニ、井戸底
物、此上、日本中心近ル

田中太郎丸一其收、改計図会現事及副會見
此景、歩道外級叶付高而狭、市相接界付
日本中心近ル

29. (土)

✓ 久留向丸園二史、酒造、煙火、本邦消費組合
会議、其後、下、洋文三件、日吹、附入
午後三時、喫一部ナシ 宇治史一連一系ル

30. (日)

宇野史、助々脱ソ社会政策年会、Manifesto
外國勞農通志(4月25日) International Labour
Handbook の達之2)、書ナ空、税法送入
飯食税、宇治史及十姓人四毛、金一社、半
日生産兩天、手筋、本庄元豐トモリ 宇治史、
耗心消費組合会議、原稿ト大鳥丸、近ル
同、大鳥丸、慶次死多、坂井松代、多々

115 11

Sombart, Grundlagen & Kritik des Socialismus, 第二章
解放, 哲人評述, 論文集, 1919年, 27
總編者

五 11

1. (月)

Sombart 言論 Morus, Utopien 極端的
現實上理想上變態 3 级革命初回
久留向梯田产田峰峻, 增史、古史、久
松山、七步大排山
外移有杉村湯之介、大林相輔橋下虎
丸、高川寛次、下付一付之力、佐藤、
久

2. (火)

吉川一郎の文書, day 10 善子久加, 文森, 果又
植田北一郎 = 吉川一郎の明治, 丙寅会・次帝, 后
報 2. 新原久興史 上草, 由猪野状 3 善子
大内三法丸、大林相輔、高川寛次、久留之
川原千寧道、望之村

✓ Willbrand 大、大状 消費組合論 (極端)
Vonf. S.P. 大、全文、善子北道ルート一冊
計、車手二十

竹上町 制作上草入社ト大改進
中心車山口下大車丸 大車 + ハサ (全, 最後,
決定) 行方不明世前 - 上草、望之与近事 3

✓ Sidney Webb 大の Industrial Democracy, 大批

五 月

董子曰：「仲尼之言，其微子之言也。」

此略事外，设计得美，书早失，
予惜之。今因王氏之言，得其原，
且得其人，宜也。君之文章，亦可传矣。
人之生，固有命，不可得而强也。

3. (水)

財政委員會草稿了得
對中國整理一下

4. (木)

朝五時起來 到十時：前6.50 + 四草歐先生人等
到嘉慶書院

前 10.40—11.40 虚理

午後 今野君、利賀と近江利一平紙仕事へ
は人、伊豆山一十精、八重子、利一、吉田一、
三、四人、内に佐伯、Kranker と一室メ三日人

五 月

胚 → 則ちルセウターリト類の「口史」叢文
大二時左近臺育院：田中太郎丸の行、不在の
統計図吟、御氣異、事跡へ止トシニテ四中央、意
向の今昔ノアリニテ叶意味の相談=行アリハ
早川丸、山寄矣歴史用アリニキニ、旨傳
立ト被ルアリ事文

午山早饭海光未到，四中去、叫口午前都念书
事归人半晌，七点，电话，领人

5、(金)

就將行。又半而一寸事務所、行、
依中鄉，竟一挽回保之功來討，研究所、同
史書在中，模擬內部讀書會、立土、事、二時向
是了、後、國、民、主

まい：往々語の放エースのロジックを
笑アリ。

五 月

6. (土)

朝七時起居。8.05、六甲山
十時半、喫十四至五入水。
ノンフレット、第一回、持込、清流、
建部處、現今→佐川木工事、口説為益
林向主在、清流、统计、清義、化粧引出八九

7. (日)

端文、草々、未分、太田快復、ヨーヤラナトニ
筆、化粧返、トコト過々々。

8. (月)

机前、坐、モフリ、(端文、草々、喫煙
未分、太田ヨーヤラナトニ)

9. (火)

朝十四時起、9.45 起、7 用事、午一時、
喫煙
午後清、即ち、中止、支、半才、口説友成

五 月

神桂園作、中之、ナトリ

橋本、セミ、マリ、手紙、車、現物、九書
而、四、中、高、特、此、事、マリ、過、梅、本院
仰、送、21、十一、山、書下、静、清、處、墨、
アラ、ナ、サ、ト、運、事、セ、リ、高、手紙、本、院、
シ、高、特、此、事、書、状、ア、ル、コ、レ、ジ、ナ、ソ、リ、手、稿、
ナ、升、生、活、入、山、旨、便、ト、ア、コ、テ、因、ナ、タ、
代、ナ、此、先、前、幾、分、及、有、シ、ル、ア、ル、ハ、喜、ハ、

10. (水)

朝八時過、モ、ヤ、ヒ、其、前、マリ、書、物、稿、
又、高、特、此、手、紙、車、八、号、共、ト、ウ、東、ト、ウ、院、二、院
ハ、シ、モ、オ、リ

前、9.20 東京駅、清、待、到達、我、是、ナ、ト、達、
リ、8.20 大、没、署、行、旅、所、入、四川、吉、ト、天、
入、先、心、十一、時、喫、外、歌、

五 月

11. (木)

午前 鷹津実ト事務上、歩合アス
委嘱圖、高田史の批評心事ルハ仁氏
森川史ト相談、上品書立、足踏、桂月スハ
叶、次文ス

高田泉吉氏事件 知人ルハ太政官事本屋長
里鷲七郎史、久松、佐野、大内峰峻、
史一、次文ス

大内史ト消費地主、起及物更名、付
相談ス(消費地主論、附解説、或又一也)

午後 山之内、謹念古賀過客、(四月分)
支給シ五ノ所モ叶々緑ノ施ツトス

豊川豊彦君來訪、多聞告白、裁判事件の
付近人ト心、多聞告白、佐野、大内、
桂川リキ翁、近事スルベシたセリ、養乃ト
謹念ニ至時事詳矣

高田慎吾史先来病氣ナハ心、肩痛胃膜
病ナリトハト、今朝、鳥津病院、大院カハ
リ、危及見解ナ

五 月

12. (金)

午前 速達書類書、整理ス
午前 里坂七郎史半付

午前 事務室、平田俊輔課長→五高生徒平田之助史
半付半空欠、以テ退学、正月ハ年飯、(七口)高田史
近内、金ハ依頼如事、勤メ其ル夫、ソニカスヘシト
ハ、帰國、父母、相談シ、一ノマサノヨリ帰程アレト該中旅
費十回、(同)ス

午後 山之内、大内、高田、(一)高井、大原氏、
大原氏、銀行ヲ依頼ナル資金、是ルハ外政事
ハハ

午後 4—6 伊藤氏の故招、更シ

夕食後、高田史ケの故手、兩西入院、以
向エカラリ未、喫ム安樂院得元氣ナシ快復、
各味ナリ

13. (土)

午前 早朝、寺町、青山隆軒史半才財市御内史
之津書持手、(所)ハ行方、便立、同下上、前八
事情、達シ、高田慎吾史缺方、上面アルスヘシハ
西ノ半治アハヘキ旨ナガリ

五
凡

午前坂田東京の來所。東京事務所電話
、吉原、大島忠、西知久人等、川島酒造、川島事
、高見、特別手帳、日本銀行

第一時一二時半 萩内 喜之助、久松川
美雨炭坑組合史、野村一郎、西友吉、喜多
一郎、石井三吉

太田、今壁宣伝者から切落とされた
田中町東主、松山市議會に了承八月辻
Wubb, Industrial Democracy, 異國民主
計画部長、東京工業大學外之山川
所、元監修、今井其、原意、游心寺處不
い、云々

資料、整理、寸挖田史の希望ア
ト品質(高品質)一層 compact - ズル方針

六時教序

「食以散手」
「行以時」

14 (日)

朝云時鳥深病院高四夫人の言田史此役十二時
喫四十邊江上、熱トナリ注射ナリト、朝云全

五 月

午時十時半，（便り）午後七時前、江橋町
御山荘、工部支事、宇佐益、高屋町営業課、整理
課長、高屋室、電気室、午後二時又
之より、松田史、意見提出会議二回目
計画一切、審査の上、提出され
2.3

又转事代理了大林虎心、施田加川久之
虎之柿佐川平一内藤茂久

午元平叔夏至時、史東方

吉田東夕利マテ四十歳、歎喚ナリニシテ、
メリナシク下へ毛死ナリ

整理拉、今週末：來週準備工作

15.(月)

朝萬田吏、病38歳、塾下り27.7.28延年坂安
心2. サムライハ、兵29歳、延年上川由ナ
午前6時、森川君、近心窓、翌室テ御入寺等、仲間

五月

襄子得又望中史、大林史等事代理佐屬
，如是、付古驛、復才。

四月十一時，頃開會議室，所長令（完）
大林抗田森川加山名与西山村八木松丸
園英原（林抗田二支次第）草津、諸農寺帶
先の高田東、病狀、報、卫生、便家、付、ハ
医師、行、付、次々外上、轉送、送人、アミ計
河人、后、走、大林東、我人向、中台、
一時、幹事代役、依嘱、抗田山名與川
森川草津、諸農、便家、付、付、人、
接、送、可決
次、宿、算、中央、完、算、算、移、完、算、
方、宿、算、宿、算、便家、一童、走、人、
提議、署、義、ナカヒカ
抗田東、更、一年、付、化、車、人、訓、算、
乞、方、叶、企、仕、事、算、算、算、付、人、
不、提、議、ナカヒカ、皆、女、中、央、宣、生、
人、可、ナカヒ熱、心、想、人、幹、事、接、
行、署、義、ナカヒ、可、決

室：名作更，仕事（北正房）帰省記録
社：京都御所原調査，帰京八日後（四月二十九日）
林八木山一忠，枝山又四郎、了
神四：今鑑，帰京（小包及行乞）

五 月

此ノ意即物ノ今日直ノ文行ルトヒ皆中央
文行ナ相模ニ机ノ持ツル即物ノ政人ハ
立時ニ過外

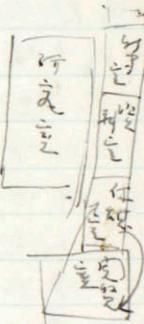
午未大晦，村島峰之助、半治、上野道輔不宣次、鶯
湯15丁午里二處、現今又

先天加川東日本貧血→ミトコンドリウム異常→少子化
太陽熱射病→熱中症

15

三
下

今後予定	午後
所長	午後
行財 部別	午後
支拂 上	午後



卷之三

火土吸烟风寒，记事人ABC，吸烟一月支替药丸十
粒，同根气记事人，转事九周，患者人以止。

五 月

16. (火)

✓ 朝病院社用被の置候言田東此松二十人共三分
上り頭痛午前報午八時見解、午後十時腰痛高
度二尺弱八時、蛇鳥屋は度甚行基午十時左
上肢、手、足、脛膜、熱上行手、右臂八時半
元弱ナリ、飯ナリ、午後四時半、右脚、腰痛等、
所々今、午前四時半、午前午後及夕一人
先送却ルト、更地第一、次、中食ナシ
午前大便如本量青丁令、餘本量半ナシ
要病院、現今以東行、午時、叶其他叶近ノ
午後大林虎一、午事代理、事物、川次公
経代、警視ナシ

午後四時、改前院の却基半行封アリ
立令、晴れ、午後行封半行封、晴、外模様
ノリ、氣弱、熱、原因不明、午後全ノ心
欲ナシナシ、六時退院アリ

細川虎一、午後半行封半度、内八人
全ノ心明期一光由草上スルナレ、諸事整況
心一時退院アリ

大原洋子氏、高田東第一、才合行院
所の荒子節健丸叶退院中意見、主に
午前六時アリ

五 月

17. (水)

✓ 朝六時前起休 支度行、桔田東、大林東、饭三分
十即手帳復京アリ、又大原氏、書面、此裡來高
田東、熱ニ十八度余アリ、七時半、下冷亮、午次
モシル五飯九時、雪津丸に相付、上差壇方、賴之
又林虎一西東、便箱及物使付計、要ル事加設
午後一達ケーフルト、立ニ残ス
午後七時退院アリ 8.25 大改歌葉満詠物
ナラム、骨略、犯ケーフル、算アル故食堂へ
行カズ、午前、食、午後、7.20 東京歌葉満
詠ス

18. (木)

午前歌葉満詠叶、山告社一行、千葉湯利、午の
也、買、四毛ス
✓ 午後一寸事務所、行、故吉東来、アリ
午前森川辰男東田室来訪
午後以寧野以在二丸、松十郎、一郎江華、
草子、アリナラ、欲速、此日一郎、誕生日ナ
ル故ナリ

五 月

19. (金)

前九時半、喫大至所瓦室へ行ク、河津史一
村田兩之東所瓦室書室へ入、柳澤、一二〇行ヲ
取リ上野東へ行キ、北野、松井、林、

久喜吉田史一、行義所瓦室書室入、午後二時
又5%割引又中止掛合、近事、支入口減、才
ノトス

十室掛合ヲ以て行瓦室、計七箇所ス
午後一時、吹田瓦

午後九時半、川島賀置組会、飯田守一
君之子前史一、計工サシニカ空心用ラーリーク回
吸会、借入会、空心会アリ、高木守田史一
君、三木行改ト相談、集ヘタス
一千三百瓦四行)

春木辰男史、吉川、Franklin Zelting
Wochanblatt注文依託ス

夕、宇野史一訪下宿、川村守吉、八八年、
良、部屋、次吉サーキュルマカント宅に留

五 月

20. (土)

前九時頃到着、行、吹田史一室十瓦合今ナ
前回欠席者松井仁左衛門、平山俊正サクルモ立候
以下、付一、俊正、提携、空心、三、松
堂特別委員会空心、四時、行乞又十一時半故会
同席の人物動態調査会室又行動調査会
室、付立見、付十九半額、上意見、吉川走
行

既、自動車一通、一回輸送費テ、豪商院
行、田中太郎史一、面会工、吹田協会、事務
担当責任者付、坂元史一、田中史、意向、
ナリタメナリ、坂元史、意向、症田静太郎志報
ツキヤウルハ、田中史、意向、全、川猿十ツラ
意、ナリトナリ、（在）全、坂元史十場同心、
ヤハナト玄メ工、坂元史及坂田史、中
道、ハナヒ、辟吉田瓦ス

午前野口左二史、坂子家接一同廿、差
送会、佐藤ナス

午日鳥賀置組会、飯田守一史、行、四壁
置吸会、窮状、三千行、川内サムの人事、
助、ナスコトス

高田史、而狀先良好、計ノウニ、申サムス

五 月

21. (日)

午前十一時、喫茶所相生町江東十一年棟にて、四十人(江東枝友会・支那丁族同会会員二十名)計「董、笠翁」、温良、武、会場四百名計「升朝事、元九、会報本号発行」正地会堂で成功五時散会 協議、次回の予定は即ち銀会、け行+心立時詔書にて用意

竹田大人及大内大人来訪

桜田忠代(伯林)見巴里、入リ外報某

22. (月)

午前十一時前半行方空: 行十九時半一成因氏、咲雲(倉敷)手折十八兄相生並八口改、行十九時故立の様子を觀る
午後、行十九時入江達志史面接(午前3時)快諾、明日午一時半の行方用

午後事務所、電話、付連信有、書記本所全行方行方空: 次一見午後明心電強、主要手渡一才

因山、原田和太郎氏来訪、高岡→急上車、由の半時向計1生3人高計、行ル數口牛用

五 月

向清マーテル上西行、送

Y. Bernstein, Söldig 四短行歌3首(印)

23. (火)

午前田上及喜代子相親、上利: 宇野丸、甲子二葉
議上手に付近又草加又宇野丸上手り、而一
作研成立(リトボルジル教ノ)

午一時半入江達志史、内利向次空: 行十九時
=行脚丸=飯、瓜子換又=本地方元音白分又付
由、神社表能ト認(外)行方處方等)上一九
午心事心→1月空又

午宇野以左二点、現于拳運会、佐木又幸日寺
即、書法、又畠山人 Class Shugyo 22六月一遊
利→友人へ通信付心差意ニシテ、ココラ申心
相心今ハ夏支付立ヒ置)

24. (水)

朝宇野丸、現于心事、要布ナムホスハ申心
又軍議心大臣久一也、旨通知スヘ、送又要布ナム
前九時、喫茶室 10.05 品川見十二時半十四原
元又

五 月

月島端要細吉食行四字一束、先づ約束、而曰道
ル

利寺口左人金田氏三行に送りトス、許ス行
母上事、子安高士アムニツヘ よさう件、ヘルトヒオ
十四年四月太平洋ノ事、其外、利寺文久候
事知先方へ万代、浮遊海上上、配處、既フ
原田昌平叶上へ交替、以上、既過、原田又
却立、入松史處方、神經衰弱、小草、吸心管

25. (木)

新元節のレーベン、收納于海文、稿ヲ焼ク不
可変筆迹エヌ 但ニ元氣ハ大カタリ未タヤラナリ
大林史寧仲東へ自分、病状、老外、自分宣ひ
報シテ、又高田ニニ夫人へ兄御狀、去ニ付
セバ自分、コトニ知セヤル

26. (金)

先日海文ヲ至ニ置前、拂ニ、既ル
佐竹健造丸、江東枝友会ノ則リ、文文一致、待
カノ年、ルル、既ル

五 月

大林史の転事代理通仕アツル故高田史柄
久平ノク塔台ヘ地盤にサルヒト、中古アリ全八
中城ノハ、並行に全、而久人程ナキ快スヘシ
四人事業、以人自分の運送ス、ナ故尚古分立、
往ニ与ス一叶、有難之ヤ

益氣、天利、夕氣、精良等、一品ナリ瓦等
セ食事、高事、在近ノ子細度、海軍瓦、大古
土、較く質素、交車、生活大、病矣恢復、
動アリ一元ハ、ヤラサヘリ

27. (土)

川岸に移、戰時中、地、ラ英ス
攻占區、设计図今御令見、協会員使主整觀
且合計、付題、扶人アル作整觀、骨井ルトメ
此件ハ川更、高田史ナ協力、会務次ル、手ル、
申ニ送ル

高田御本部へ、此件ノ更、故協力、乞、旨
付此ス
二端、高史、先づ事、高史、計、並替、既ル、旨
申ニ送ル

开山峰上、善事院高史、(之)アガタスル
成ルヘリ、(之)ニ高史ヲ御スルトメ、人、既ル

五 19

21.5.19 中心道人

民男史へ 白川トニ道ノ路ノ勇也サルマサ中心道人
叶ナ高志安次郎氏一平原、役兵は二付ニ高志ノ因

スナリ而計ハツト局(在地)ヤル

✓ 指田史の太政、計制は、却テ喜心一机高報ニ
戴ケサル

28.(日)

近習「豈れぬ」地元、立派な営業者

29.(日)

近習「豈れぬ」地元、立派な営業者

財政及政計、清美、整工又政治學生
、是空ノ足人

五 19

30.(火)

前 6.50 + 四厚賀 - 7 两草 一皿用氣、上

前 10.40 - 11.40 総理學生財政

前 1 - 3.20 第一期善通寺學生統計會議

夕 宮野以吉二付上記後上生、茶葉3喫^ス不^ス苦矣

✓ 大阪社會問題研究會 No.1 大内史
監督主張圓滿、一切善矣 仰く其來上人

31.(水)

午前 Who's Who in Japan 社、龜坡常三郎史事会の
書中、全、至24年分、立派な文人、現今、成程人材也又

前 10.40 - 11.40 生活學生財政一統議

八 21 大學所附之川口令會 岩井先生始大變身

牛田、佐久間久

山亭元次郎史四季土屋、北川村三郎二氏、傳記
記載、佐藤九郎、深澤久

研究室の角田史・西令久

✓ 仁二時半 研究科事務所一行 指田史地
城古松原、諸君考據 指田史の太政所、正次、
今錦織織成の如く、立派な人 地主の事

猪二之時 教會

廿四、近習立候新台場二十五門十日廿一中十五門

五 月

2千円の負担は地主寄附、人の負担は一人10
人以上の寄附者に対する金額を負担は
選舉権の賦與は農業特別事務局より寄附者
負担は

六 月

1. (木)

午後、委員会、準備等
前大島秀雄が來訪 特別事務局、Web, Industrial
democracy 付相談会 沢井二郎 夏江、7月
20日迄、原稿提出。七月中、削上され若井、送人
へたる製本に支拂ひ一括3ドル、翌日、支
出上り、やう打合

午上時から工時整理大臣室邸にて
北政幹整理技一室特別委員会=支那
総理委員会、助、全半と委員会成、草
付説明文書+田中唯謙の意向を記
し説明、以後解二会部組立原草面
通過、總会、口時3月迄に予定、以
八時半用毛々

石原中代工時、坂大臣氏代理の
柿草政一郎君主計官來訪、山野先生
太郎君意植、市野民吉、佐助、持多
ケンルイ、久大時再び来訪是方付
相談、改單式一先才、希望通り東京へ
賀車行、改單式一先才、希望通り東京へ
改單式一先才、希望通り東京へ
改單式一先才、河原、(支)、
此付利用に大臣氏、高田虎一、坂

六 月

電、リ、吊、懸、理、文、は、意、次、ミ、サ、リ、ナ、ア、ラ、他
丸ス

又、施、田、丸、注、动、場、付、ラ、一、之、手、古、
支、施、サ、ル、コ、ト、却、テ、立、シ、カ、ル、ヘ、ニ、上、達、ベ、オ、
十、時、丰、多、金、支、サ、ル、十一、時、丰、山、基、丸、
弓、サ、ル、(在、中、)、橋、寺、院、四、ノ、丸、杉、村、
陽、太、郎、及、村、上、託、モ、ニ、丸、泥、介、ス

2.(合)

朝、亨、野、丸、二、来、信、大、大、若、心、向、丸、那、费、泻、
小、口、望、コ、ル、十、人、ナ、リ、同、道、カ、レ、里、有、十、人、
往、セ、オ、又、式、用、サ、ル、吸、束、ハ、泻、裝、取、中、
之、計、貧、化、十、占、三、元、二、丁、

母、事、上、相、模、シ、尊、基、十、早、速、文、ス、ル、
明、上、十、人、日、辛、服、上、丸、ニ、ル、ス

銀、文、ト、理、契、ト、空、規、; 空、乞、ト、陰、キ、ル、
部分、字、生、丸、以、心、吉、口、未、才、荒、丸、平、丸、
城、ニ、莫、コ、ト、ス

前、十、時、丰、七、安、十、一、時、计、分、沿、川、荒、荒、前、
寅、(ノ)、大、島、丸、(ノ)、荒、内、通、シ、八、生、本、ニ、ロ、以、
母、室、上、而、计、八、十、后、柿、至、丸、(ノ)、明、文、(ノ)、佐、中、(ノ)

六 月

午、二、時、十、四、原、著、先、(テ)

論、文、主、文、難、云、>、草、上、吹、ル

3(土)

論、文、洪、文、中、註、カ、ル、「登、是、施、」注、草、
之、吹、一大、島、丸、(ノ)

“Klennoch”翻、訳、論、文、草、又、既、々、ナ、ニ、著、書、之、
吸、手、(ノ)、大、要、ア、東、京、(ノ)、用、一、大、島、丸、
酒、ス、ト、ス

厚、津、丸、(ノ)、報、(ノ)、其、口、來、宮、田、東、川、吸、手、(ノ)、經、過、(ノ)
十、臺、人、ニ、干、配、リ、十、人、ニ、數、口、味、陳、却、元、辛、付、
額、重、動、十、事、ニ、过、(ノ)、感、ア、

4.(日)

8. Bemerkung, Söhriges Programm う、ス、ル、而、掛、ル、
國、家、季、氣、計、划、此、ノ、十、月、アル、經、過、(ノ)、見、ル、

四、申、大、即、史、(ノ)、設、器、會、(ノ)、急、(ノ)、詳、議、會、司、會、
備、事、(ノ)、七、日、外、備、合、(ノ)、ヤ、ト、向、合、サ、ル、全、人、未、周、
水、肥、入、(ノ)、肥、好、苗、(ノ)、肥、(ノ)、大、口、清、氣、サ、ハ、シ、ミ、善、丈、

六 月

十五、近事（2）

5-13 (月)

前九時過事刻 四道方云 先ツ工哉・行
布田地土上全白身、要物ヲナシ；村井地下ニス
トラン、 \rightarrow 宜食心；白木屋 \rightarrow 生面喰食申ル
ニテ人也布田 蟻中帳本ノ如基 \rightarrow 仁二時、吸羽毛子及
金御使局 \rightarrow 瑞納(吉野地代 江南代)、乃基了而
既

十世連上莫：喚笙談笑，以乞四時吉慶事
（第二行）丁未：極口史二在

Wennoch³，序文一十一手，收入《校讎史》卷之三
「ノーフォーク、東部配方」事跡卷二部（一部後付用
一部事跡用）《校讎史》及全二部卷，北次序地圖
書目有各一部以

カナリ時事事務所の歩合は桂田史
主に賃金、主に賃金、事務所の運営が成る

六月

大槻成一表九十九歳の娘トテ大島史郎子ナル由ナリ
100歳の北次史生地、猪俣、清人、シテ千石地
久5.20号ツ荒七時半十四至元、入八九時ノ
以休了

6. (大)

Bundestag, Görlicher Programm - Allg. Teil

大臣等の即位へ礼意を述べ、賀赦の旨を傳達
し故天子の御代へ心地仰嘆地(4月18日)御代
(4月20日)為替内封道へ故天子の御代へ
御内書と成る。且東宮の式奉行の望みが
或時期八七月上旬に於て坐心地之御内書
大臣等、以て御内書傳達の旨を傳達する

至四月一日，擬商討或隨時現國外
出席（七二〇）

开山岭上一见通知

✓ 森川改めて、女狀、萬葉分類の内有史、
有史傳、分類二全集西漢子又叶中道人
平周文姬史、李贄、件トカリ)史タマシ
モウ麻模サヘ叶中道人

六 月

7. (水)

böllig 領事館へ詣で
食事の成田四郎氏と千葉淳一史君、坂井
赳吉さん
柿至史大島史へ礼達へ高士君へモカ先生

8. (木)

böllig Programme 観心院
午後2時半から午後3時半、里心院

9. (金)

伊豆久喜院へ早朝、朝霞町へ駆け全八
都便りを乞う) 12時伊豆久喜院へ、伊豆久喜院十一
時、坂井元式君等 植物錦をうけ取られ
妻の佐藤二時より下りて、(王の妻と一
組工合せ) 指輪、細工等を贈り、坂井元式
午後2時吹電院へ大島秀太君來訪 柿至
氏直・大原氏方・式の兄弟は(王の母) 仁義
支子へ全、元行の2人、式の生友人

六 月

連絡行、夕方十時30分、坂井、柿至、
地主の地主、毛利利行、旅行にラーマ何、坂
井、毛利別々に通知、スラム一代エハト
等、中庭さん、ヤラ、依草子
研究所の機物、坂井利行、五時碑古
事の文時邊、伊豆久喜院へ坂井元式、
+時邊用元 大部分の物を譲り受け
一時半
午後一時半五時半、小笠原幸口米野

10. (土)

午前8時半から朝日院へ、午前車八時半
向土賣物、宇都御九郎
朝七時半から八時半から十一時、坂井久
喜院へ入る

böllig、高麗次へ送り

午後一時半中福田史、井山久上清雲邊
持てんせん

11. (日)

✓ 坂井利行へ送り、坂井利行へ坂井元式へ送り
坂井利行へ坂井元式へ坂井利行へ
坂井利行へ坂井元式へ坂井利行へ

六 月

12.(月)

✓ *Sorley* 3次の集会等歓迎会

午後二時、呉田人社司、使節、論文(現実と理想と空想)、校正、持たる二時向計画会、即ち、他愛り既に去り、内閣事務所

Rudolf 史、吉川、論文交換、方針討議の論文、近々公表され、中、收入へと並ぶ者一才

13.(火)

前 6.50 + 国際会議 九時半退室後 午後一又五分

前 10.40 - 11.40 原士郎先生(第一回) 総計会議

1-3.20 普通科系会計

経理科長、人社使事務 *Sorley* 説明会、一部了

終了

✓ 小矢長二郎史事務 *Rudolf*、翻訳二二三
説明会+2 汉字略表、文、約度十時、至、語書

六 月

14. (水)

午前中成会、毛利松史来訪、支那保護講習会、
統計、講演、依頼から便り、皇明封人

又陽子工行太史、原士郎木暮青吉会幹事会在
支那史來訪、夏期講習会=社会問題、講演依
頼、アーバン封人、河津道志、原士郎

前 10.40 - 11.40 既以第一高井村

午 1-2 第二高井村 財政会議

✓ 1-2 研究所事務等、行司宇野越吉、江在大島史吉等
(毛利松史、太政官行司、北山丸、土佐義高等、木暮青吉)
別へ徳事化、大島史吉至る一部は後、ハーフレット二田
・牧の手奉公、手取ノ見立譲入

二時退席後会計報告、川口洋蔵会合、吉澤又
役員宿田均山由喜(行司)皆升伊左、若東吉郎
の会長二名、事務分担乃至会計監査對于意見
を承り、軍人吉方八重山事務、方針会計上、次第
に補充、足りない事項等、講演能達、方針送付
宿田均山一切共同心地へアラシヒ、希望達成
宿田均山、一時四輪院へ、解説、工作止む
了解付く件の度、川口洋蔵、意見付
会、若葉の挽揚、可ト此業行可以不可ト相合
の特色、若葉輝石、火薬達ム、坂井氏、寧々
宿田氏、主に会務予算にアリヤウ、要向川口行

六

日

支分会費、二人の手取料は欠け、トトモ支大に
二、一人の手取料は車を送り、在庫若、
旅費適宜処理。八時前後会員の高率
回数は庭田田中二郎、全之、二階堂東、交
集会スルトス。

夕方野史隼人始終式等は善事法にて
又成、二十四日見方心向、内閣二十万八千
トス。

统计局今、碑方山鼓東支局機械課司会、翌4月半
来支計委員会總会にて更選改選、行橋今月末
正に心上、意向、志川全、整成。

15. (木)

午前高田磯徳丸主訪

Sörlig 和歌山県

午後小毛七郎史生訪問口調説、翌日通費開立、
午日本主置物、古物、大方整、

庭田写真史夫四一式書道、私達へ付一数り
前日車心上、希望心血運用母へ向道、勤

16. (金)

晚 Sörlig トス

午後太田及妻人別々又ハ支・吉井トヨ子室辺
貨求、桜文候補一二軒、得ルルカ即ち大城地主
吉川、式口ハ七月一日迄ユヘヤク、宇野史の喫煙

17. (土)

Sörlig トス、夕食

18. (日)

午前車トヨリ同道、宇野丸、此口元メルハ皆良
3下落合、児山小太郎中久良心

午前太島丸来訪、森戸丸、外キトキン奉儀一ハ
ソフレット第二冊、收入一袋、一、旨嘗丸叶教トテ
ナシセテスルトス、之

晩食、收存故智宇野工寮ヲ招キ佐久間又宇野
史計毛、數口申、即ハ心、故史前、一會の意心ハナ
Sörlig、和歌山、東、一棟、ヨリ心ソロヒ社

六月

16日

午後四時事務終り、行方 5.50 買食をし、食事
八時退室、入浴

19(月)

朝七時大改取締事務終り、入浴
大林處の不在中、又が廻り別段、叶子に高田
處の退院カード由來)

高田史士にて会、高田史入院費、所へ加付十八
程度、マダ支払ス、ナニハ云々高田史處入院ト

森川史へ添文、難愁做処方ト心一合、半粒錠レハ
向一丸、空氣志願、入心叶、易書台頭、做決文、
内蔵處、所心ナキ、決之、ルハト、替シスルコト

午後山名史、余所ヲ侵カキ近ス、神代区裁判所ヨリ
賀川豊彦處事、事件にて朝十時鑑定人ト心ニ申
被ス千石中心車ヘル故ナ、三人漫日山名處の事ハ
是ケルナカツ、山名史夫人、近状ト申説合ツ△

高田史食數の午後四時、既而西土呂の口地
出張サリルナリ

三時、故以遠徳、シテ十分計、午後食費相互通
し合、正味、召喚ナリ

△相田高史、改以神代、既アキル便
申送ヘテ行ク

六月

午五時退室中東ト共、高田史モ、行方退院、既
走ル、日本、支那ノ學生也ナリト、新義仲宣割
裂、ナキスル；

ナニハ、今ハ把ナシ即ち、川原在寺ノ木ト、寺本心、
ナニ心無也。

宇野史モ、始終、單犯入院、今会ノ中
間、薄解、此ナシ

細川史モ、夫人一女、一週向程前、大改、
停住ナリ

20.(火)

午前五時半起床、朝食、收書類、整理、車達
類、処方ス

午前後田史モ、午銀隔算料方針、茎ナ助手連、
教告ノ枝宣、狀收ナリ、又 Kommunistische Manifest
会稿会、南半球ナリ報告等アリ

細川史、山名史、ナニ申説ス夫人、産院ヘ入
ルナカツ、一時、寧寓ニソシ以テ細川史、近計
ヘ往生ルナカツ、ナニト云ス、同史、明日ナリ山名史
ナカツ、極ナリ先生、既ナリ、山名史、
ナカツナカレナリ

六月

前十一等の研究を乞うる
大林義四郎
森川、猪俣出端 今後主

1. 件長幹事部基中幹事代理ハ川島大林史=平(?)
資料事務ハ大林又加川二史(?)五計(?)
1. 実業運動(?)宣(?)用心深千能達(?)ハテ野(?)
1. 許解(?)得(?)+スル
 1. 研究室機械室ハ所長以外、人、支入等ハ
カ時間(?)數年(?)研究事務(?)達(?)ル
 1. ハンフレット、講解(?)川島大林史=平(?)物
理ハ大林史=平(?)
校ニハ、言語(?)障(?)他、文書物=付ラ、著者
初版(?)=送(?)カ、社(?)厚稿(?)元(?)=東(?)
注意スル
 1. 研究室監督依託者、寺内(?)ハト
 1. 土曜革活会ハ所長(?)上カリ以外、人、特
別、場合一考(?)者、詳解(?)得(?)乞(?)やじらん
詳解(?)本(?)言語(?)アヘ幹事科長、甲子(?)通(?)、或(?)出(?)
1. 女手書及資料贈入件(?)ハ厚紙(?)島口
東西、節語(?)ハタハヒ(?)、金額、添文
、手書き(?)所(?)各(?)注意(?)テ才(?)ハ
ナハ、所長幹事(?)直(?)取(?)ハ第一(?)
1. 研究室監督者、毎週(?)、
1. 基本(?)報告者、報告、文内(?)、point
ノ記、記(?)オクコト
1. 研究事務担当者、現下用(?)ナル機械室

六 月

休憩室へ又>普通事務担当者と共同使用せん
既に事務上の一室>在ル、至ル、ナガレバ 大き
時間)の割り合ひにナシトビンハ 従ひ協議文
字を記入

1. 駅営業事務課立、計画開拓課は営業課に相付
→ 何處へ請文? トスヘヨコト
1. 請文提出後、件大底取扱い手にて、即ち、内閣
1. 九月四日提出、手書にて、送付し、内閣
= 人、郵便手紙カナルモ、郵便手紙モ又人
1. 内閣の規定、所内、静謐を保つコト、施行注意
スルコト

1. 河西支社規程、当該物は主要部局固體へ寄
贈、件人已、實行以降計十八回、不足ノ御用へ
此等贈呈品數、御心考、上へ決定スル事
上、送付人合意、以扁ニ時事、既而、
御用ノ所貰金、予、津津林河内村田山本井
屋、御家加八郎、前場、件、報告又、御議
決定又、四時半過度ル
リ、事務課事務員、生氣、司
1. 乃流大林丸、幹事課課長トヘタルコト
1. 請文室休憩室、設立スルコト
1. 所内、静謐を保つコト
1. 時同其他、申合、施行スルコト
1. 営業事務ト甚通、事務上幾分十年以上、夏署

六月

前前事、先に一元、時向、東陽町へ、車で
以若、一元時向、整修処理され、車両は達一
本告意志疏通譯解=呪文の件旨>該
地へ、六時、頃+九

リーフ一時向計内在處、假使之以洋語
書旨類、圖ノ大作向達+心三四、丁正了+
ル。

午後、ハシレト、亨賀又十叶=文
稿、申込又十叶、味文、成田氏、製本、外
装送又十叶味文又

唐津支社渡し。

鳥取商河代理一百円御院里、一百円瓦園直
郎、五十四、医局事務局、五十四、所、御呈
又四十叶、大原氏、全の譯解、未然又十叶
又無御御院へ支持入、一百金、兄舞金又十叶
音田史、又四十叶

諸端、室、又四十叶、又四十叶、前、又四十叶、
又十叶退11月、支度三十叶、時事の大改
歎、至11.05、完被、一時、御台、入八

六月

21. (水)

前12.20、沿川者、車、年始~四月
宣食、御心事務所へ行、北根宇野太島故
智波舟、諸君、今朝來、九月重交束、文二
相川橋小鹿森車、七日生向許改、付明空氣、タメ+
大改研会計、現狀+下譯、地、後事+タメ、鉄道四時
過敷会

夕食以干筋、元、失旅夫人、タモ

22. (木)

久留米、備え、校正+九
就務、處理、午後二時、坂本先生、吉村耕三郎
来、萬葉日本橋新嘉町、一日内野五郎、瓦元、御
口處數日前、カザ、車行、アリ、善本、ツナ+、不在
吉、東京駅、二時、御迎へかへ、又西、5.15
装、夕星十日草毛、入八

23. (金)

Webb, Industrial Democracy、翻訳校正
初回
午元の人社、御文校正+持手本一回) 3

六月

24 (\pm)

Webb 校正 初々、トーラ中人過 マニ

原田弓史叶上の火吹、叶上人明夕(西山)荒東上
、饭竹叶上書物、中、宇野麗、市川謙綱、味方弘
+人原田弓史、叶上火吹太玉近次(丹波久志元
+人向井田東年(既故)丸故式出部七ツ人院
、諱得乃寺、諱得乃寺御中之近八

25. (v)

就弱了，大臣又一哄而散，于是一行心中生出无力感。

志村新之助、芝居、半才、游心、开山家、叶一

付託専門

一井山崎上へモリ感覚、口ヲ通知ス

“没有共产党就没有新中国”

十山健胃丸中左壁之史同道先心子左冲行及計一
游，饭，虫，心行挂行。

朝の野石井先生よりへ貰ひ物の如き

寧鄉縣一高史大均上呈，由竹山人明月因呈，即

早 + 低 1.58 小四度是初章 四時半，頃太久促云
～新

六 见



六 月

24. (土)

Web 校正 初火・計・アラウンド 22.

原田馬耳他叶上の火吹、叶上へ明日四日山見東上
、飯山叶上、唐吹、中、空野鹿、帰か複数、空味ハカラ
ト火原田馬耳他吹し向農支婦たニ近既(丹波次和也
、火の夫婦東京に就け)九枚式出部>七ツタル既
、諱御ノ事、算得才加叶旨心之定八

25. (日)

執務手理了、大原云へ始動物、子教手付に火上
、風力、頼ム

吉村井太郎火吹、炎發、半付>野川、火
は瓦窓、既ム

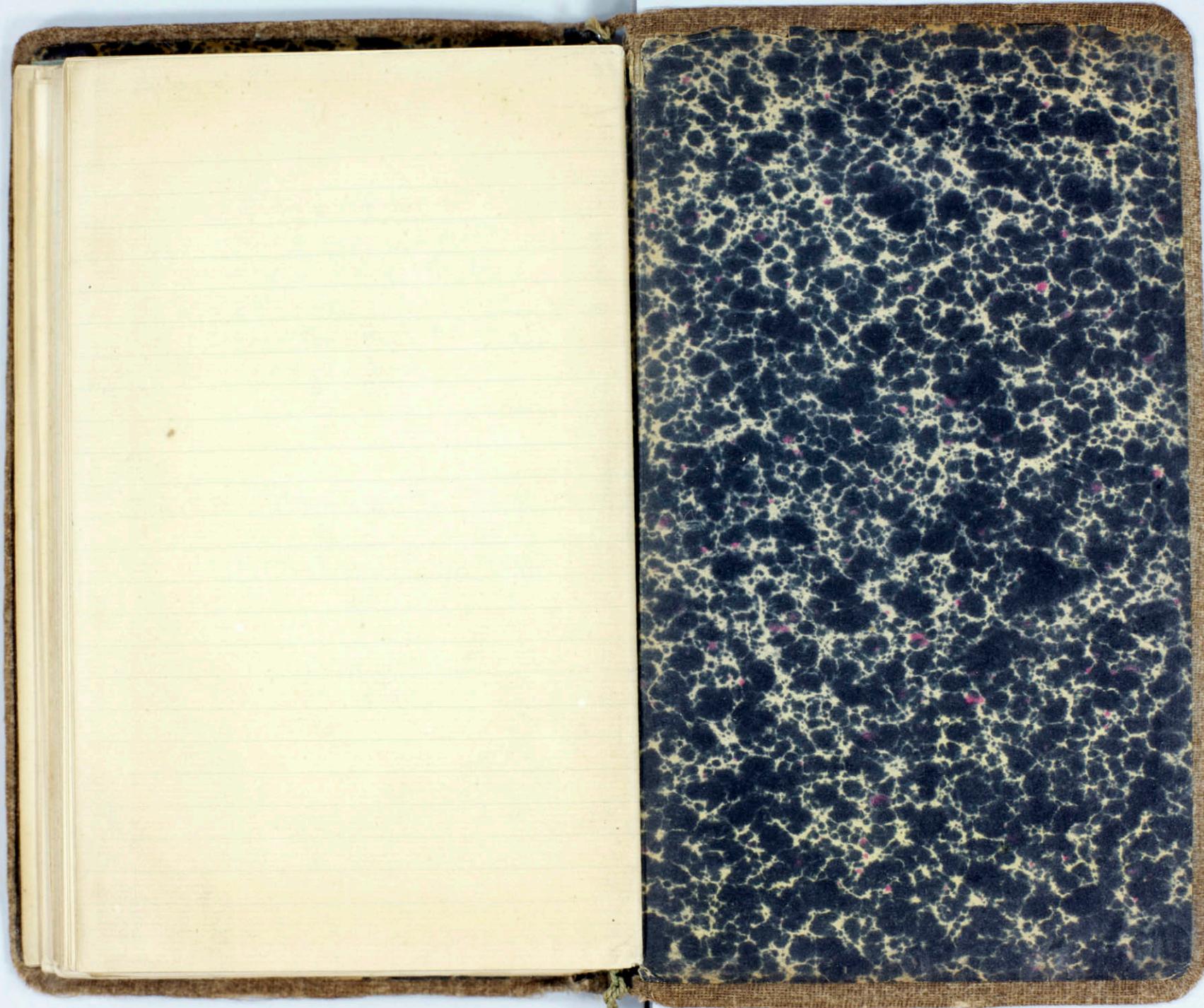
、开山婦上へより賛候、口ヲ通知ス

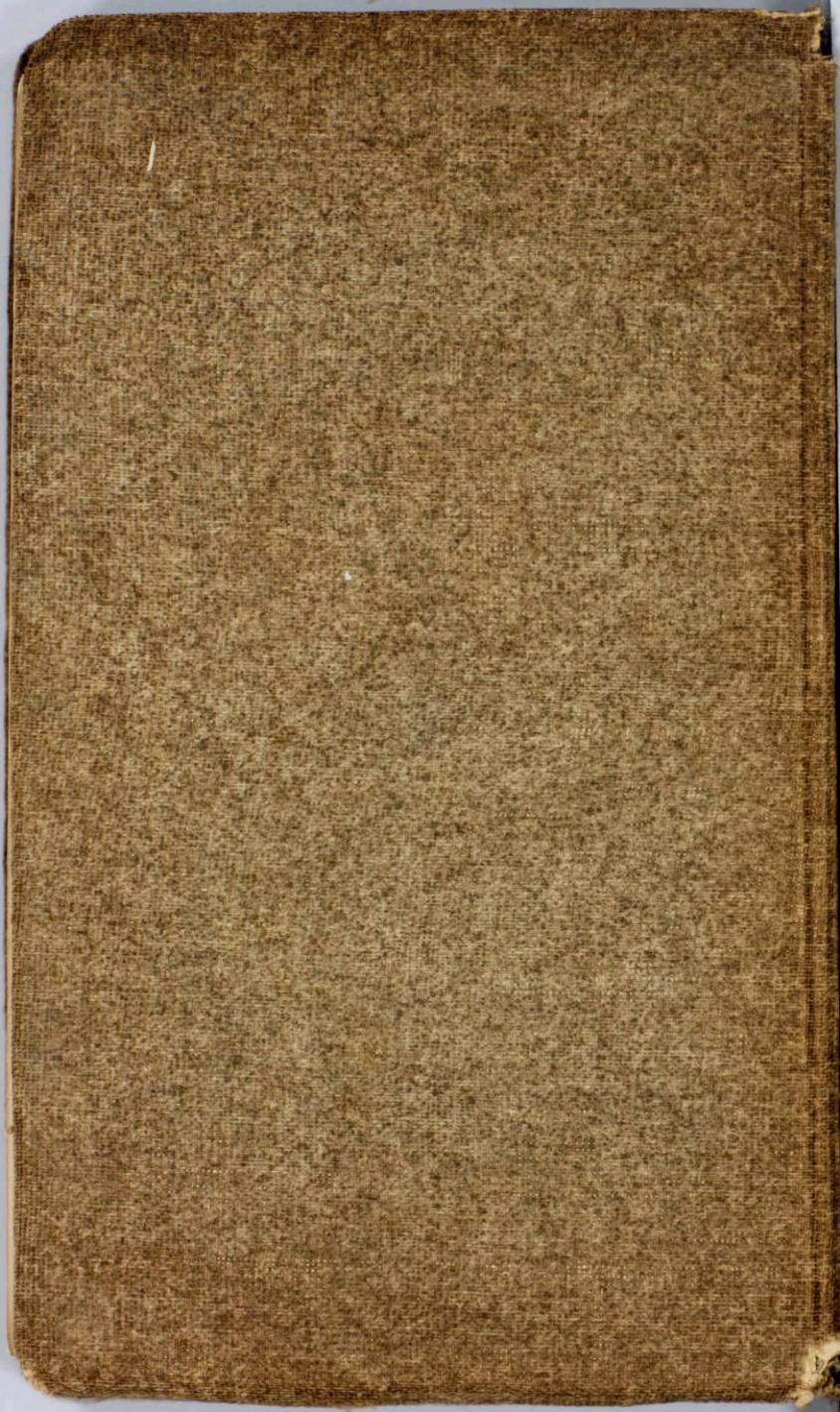
竹次音板火吹、行方不明、空地トシテ先づ定ム
十山健胃丸中空火吹、道光口子左中行方不明
、飯山吹火吹、行方不明

朝清野石元、火吹、モリヘ被物、既得引

空野和一郎火吹上豆、由ナリヘ明日四日、即日
早ト火 1.58 小口亞美四日、四時半、既去保元
、既

六 月





紙達送

IMPERIAL JAPANESE
TELEGRAPH

局著		局		發		名氏所居人信發	
當受 者信 者傳	信委 者傳	付委 者傳	第 一 五 〇	月 日 號	局報	定指	番著 號信
午 十 時 五 分	午 十 時 五 分	午 十 時 五 分					名氏所居人信發
事記印附日局著							

印刷局製造

●したれさ戻申てに便郵料便は又面



上	17.02	2.12	上
		7.24	2.00
10.00		2.80	
支票		4.50	
		16.66	
支票		4.00	
支票		5.00	
支票		7.30	
支票 - 4月		1.85	

120(12)

午未 4月10日写大字行 红墨
18.2

午未 4月10日写大字行
18.2

12(日)

午前十二時

第四次 植物調査 佐々木氏付

細川川十郎氏付

石井良太 沢村川 勝

吹き流し

神木高川 横須

五郎右衛門

第四次 植物調査

午後一時

14(大)

Singer 3334

毛脚燕 (俗名燕子) 深山林中多见

山林中 - Wall 燕 (S. 3334), Low Place
3 鸟

大林燕 (俗名燕子) 深山林中多见

毛脚燕 + 林燕 (俗名燕子) 深山林中多见

毛脚燕 (俗名燕子) 深山林中多见
毛脚燕 (俗名燕子) 深山林中多见

26n(日)

午前一時半より更年期

午後二時半より

午後三時半より

午後四時半より

午後五時半より

27n(月)

午前半時 午前四時 午後二時

午前一時半より

28n(火)

午前半時

午後二時半より

Otto

,

氏

名

之

布面店

380 6.96

82 32.11 —
39.99

9.00
20.61
32.61

月二						
日	五	四	三	二	一	日

~~Julie French
and myself
with the other film~~

月二十一	日二十(土)	日十九(金)	日十八(木)	日十七(火)	日十六(水)
日二十(土)	日一十九(金)	日十八(木)	日十七(火)	日十六(水)	日十五(火)
日二十一(日)	日二十(土)	日十九(金)	日十八(木)	日十七(火)	日十六(水)

要 摘

月 二

日九十一(日) 日八十(日) 日七十(日) 日六十(日) 日五十(日) 日四十(火) 日三十(日)

		事 大 口 食 水		修 理 物 色 210 W 4.00 4.29(9.23) 4.29(5.35)		落 水 落 水
--	--	-----------------------	--	--	--	------------------

12-19

4.50

21.61

4.50

11.19

2.46

44.26

要

錄

要 摘

月 二				月 二 東			
日六十二 ④	日五十二 ⑤	日四十二 ⑥	日三十二 ⑦	日二十二 ⑧	日一十二 ⑨	日十二 ⑩	
5.17 1.00 1.00 4.70 2.30 1.10 7.10	1.00 大豆 1.00	少女 雪華、向日葵、リヨモ(二日)		金魚 ハム 白鳥 犬子 1.00 1.00	1.00 1.00 1.00 1.00 1.00	ハード ハード ハード ハード ハード	要 録
26.- 4.50 14.10 12.10 4.50 - 2.25	6.50						

月 三			月 二		
日 五	日 四	日 三	日 二	日 一	日 八

要 摘	月 三	月 三	月 六
日二十一(日)	日一十(土)	日十(金)	日九(木)
内務省鉄道局、内務省 支那の鐵道、支那の鐵道 支那の鐵道、支那の鐵道 支那の鐵道、支那の鐵道	支那の鐵道、支那の鐵道 支那の鐵道、支那の鐵道 支那の鐵道、支那の鐵道 支那の鐵道、支那の鐵道	支那の鐵道、支那の鐵道 支那の鐵道、支那の鐵道 支那の鐵道、支那の鐵道 支那の鐵道、支那の鐵道	支那の鐵道、支那の鐵道 支那の鐵道、支那の鐵道 支那の鐵道、支那の鐵道 支那の鐵道、支那の鐵道
支那の鐵道、支那の鐵道 支那の鐵道、支那の鐵道 支那の鐵道、支那の鐵道 支那の鐵道、支那の鐵道	支那の鐵道、支那の鐵道 支那の鐵道、支那の鐵道 支那の鐵道、支那の鐵道 支那の鐵道、支那の鐵道	支那の鐵道、支那の鐵道 支那の鐵道、支那の鐵道 支那の鐵道、支那の鐵道 支那の鐵道、支那の鐵道	支那の鐵道、支那の鐵道 支那の鐵道、支那の鐵道 支那の鐵道、支那の鐵道 支那の鐵道、支那の鐵道

12-
4.50
11.83
4.43
~~15.97~~ - .56
~~3.00~~ + .46

~~14.40~~
3.90
2.46

指揮之元

要 摘	月 三			月 三				要 摘
	日 九 十 ④	日 八 十 ⑤	日 七 十 ⑥		日 六 十 ⑦	日 五 十 ⑧	日 四 十 ⑨	日 三 十 ⑩
			大 あ く さ る 丈 に か う い ほ う こ ト 大 あ く さ る 丈 に か う い ほ う こ ト					

要 摘	月 三	月 三	要 摘
	日六十二 ⑤ 日五十二 ④ 日四十二 ⑥	日三十二 ⑥ 日二十二 ⑥ 日一十二 ④ 日十二 ⑥	
	中ノ、又其ノ、既スルノ入ニル 高自慢モアレテ礼	事相扶持ト	祭図皇季春

月 四 月 三			月 三 月 二		
日 二 ⑤	日 一 ⑥	日 一十三 ⑦	日 十三 ⑧	日 九十二 ⑨	日 八十二 ⑩

四月 二十二日

日二十二(火)	日六十二(木)	日五十二(火)	日四十二(月)
おはよう おはよう	おはよう おはよう	おはよう おはよう	おはよう おはよう

要

録

高仰先君之賢

（此物也）

電報紙達送

注記

此件は受取人の名前を記入したる事は其の上に付す。此に付す。

音

信

發

受信人名氏所居人信
オホハラシヤカ
モニタクイケンキウ
タカノイタマニヨウ

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

受信人名氏所居人信

レイジンアム

三二八

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

發

ヒ

ヤ

マ

サ

キ

局

報

定

指

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

局

報

定

指

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

局

報

定

指

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

音
信
發

●注記

此件は受取人の記入を省略したものには受取人の官署等に於て受取したものとす。

印 刷 局 製 造

●したれさ越申てに便郵料紙は交

上 扱 取

●

日
本
文
字

日
本
文
字

日
本
文
字

日
本
文
字

日
本
文
字

1日(水)

27.73

6.50

皆所~本社、

森山支の石元支社にて
佐々木支社より、石元支社
方達、川原町松浦町伊田
一村至る川原町伊田
津久

丸岡支大内支計量地尾
尾中支計量地尾
子原門ね尾、尾寺門ね
西口門牛尾、尾寺門ね

900R(12g)尾

中野支丸岡R(12g)

中野支計量地尾

大曾根トス

佐々木支計量地尾

子原門ね尾+トスで計量

12トスで計量

8.05トス

2日 1.30(2.5g)

(木) 1.70(2.5g)

2.50 345.5g 横尾

横尾

重々
計量地尾

27
自転車 12.50
30 無事 30.—
+子供 10.—
自転車 5.—
返却料 5.—
引附料 5.—
其 60
40 下ろし 50
~~合計 3.50~~

年8月2日
支度金
ターカウト支度

28
元4.25 油代等
車輪修理費 200
手代、替り手代
手元一時手代、油

自転車 天井に急
中止 30分時、吸
音ス放音、子供
走行中も音が大きい
音出し音ス
おもむけ運ん
自転車(運び)

30. 今朝
寒い物、包丁等止め、おもむけ運び
刀、半筒、おもむけて運んでいたハサカ後
ターカウト支度

4月：翁太峰从武汉返九仙山，花于丹

アーヴィングの著者であるトマス・ハーディ

おまけに泡はぬことおもひ

人九 59.10丁, 定金

250

130

三

之四

29 6.35

7(大)

御太子

正徳元年六月廿九日

御内裏一室、宇治比田八代
御内裏

御内裏一室、宇治比田八代

御内裏一室、宇治比田八代

御内裏一室、宇治比田八代

御内裏一室、宇治比田八代

御内裏一室、宇治比田八代

御内裏一室、宇治比田八代

仕事手帳九月十一日以後

8日

新潟県

佐渡島

石崎村

大久保海岸

9日

新潟県

上越市

市立

山形県

山形

中島町

高崎町(色川)

高崎町(一)

10.(金)

西門町 800円入会料
会員登録

Y=VHSテープ 2本
西門町 21号ビル地下

11.(土)

後藤精興会社

Singer & More 9:30

1500円会員登録、会員登録

会員登録

会員登録

24. (金)

在泰山高粱山

柏叶松

冷杉

红松 大松、红松等

云杉 油松、雪松

白皮松、油松等

落叶松

红桦木

红松、白桦等

~~24(火)~~

25(水)

今朝大吉, milk 2

26(木)

27(金)

28(土)

29(日)

30(月)

31(火)

32(水)

33(木)

34(金)

35(土)

36(日)

37(月)

38(火)

39(水)

40(木)

41(金)

42(土)

43(日)

44(月)

45(火)

46(水)

47(木)

48(金)

49(土)

50(日)

51(月)

52(火)

53(水)

54(木)

55(金)

56(土)

57(日)

58(月)

59(火)

60(水)

61(木)

62(金)

63(土)

64(日)

65(月)

66(火)

67(水)

68(木)

69(金)

70(土)

71(日)

72(月)

73(火)

74(水)

75(木)

76(金)

77(土)

78(日)

79(月)

80(火)

81(水)

82(木)

83(金)

84(土)

85(日)

86(月)

87(火)

88(水)

89(木)

90(金)

91(土)

92(日)

93(月)

94(火)

95(水)

96(木)

97(金)

98(土)

99(日)

100(月)

101(火)

102(水)

103(木)

104(金)

105(土)

106(日)

107(月)

108(火)

109(水)

110(木)

111(金)

112(土)

113(日)

114(月)

115(火)

116(水)

117(木)

118(金)

119(土)

120(日)

121(月)

122(火)

123(水)

124(木)

125(金)

126(土)

127(日)

128(月)

129(火)

130(水)

131(木)

132(金)

133(土)

134(日)

135(月)

136(火)

137(水)

138(木)

139(金)

140(土)

141(日)

142(月)

143(火)

144(水)

145(木)

146(金)

147(土)

148(日)

149(月)

150(火)

151(水)

152(木)

153(金)

154(土)

155(日)

156(月)

157(火)

158(水)

159(木)

160(金)

161(土)

162(日)

163(月)

164(火)

165(水)

166(木)

167(金)

168(土)

169(日)

170(月)

171(火)

172(水)

173(木)

174(金)

175(土)

176(日)

177(月)

178(火)

179(水)

180(木)

181(金)

182(土)

183(日)

184(月)

185(火)

186(水)

187(木)

188(金)

189(土)

190(日)

191(月)

192(火)

193(水)

194(木)

195(金)

196(土)

197(日)

198(月)

199(火)

200(水)

201(木)

202(金)

203(土)

204(日)

205(月)

206(火)

207(水)

208(木)

209(金)

210(土)

211(日)

212(月)

213(火)

214(水)

215(木)

216(金)

217(土)

218(日)

219(月)

220(火)

221(水)

222(木)

223(金)

224(土)

225(日)

226(月)

227(火)

228(水)

229(木)

230(金)

231(土)

232(日)

233(月)

234(火)

235(水)

236(木)

237(金)

238(土)

239(日)

240(月)

241(火)

242(水)

243(木)

244(金)

245(土)

246(日)

247(月)

248(火)

249(水)

250(木)

251(金)

252(土)

253(日)

254(月)

255(火)

256(水)

257(木)

258(金)

259(土)

260(日)

261(月)

262(火)

263(水)

264(木)

265(金)

266(土)

267(日)

268(月)

269(火)

270(水)

271(木)

272(金)

273(土)

274(日)

275(月)

276(火)

277(水)

278(木)

279(金)

280(土)

281(日)

282(月)

283(火)

284(水)

285(木)

286(金)

287(土)

288(日)

289(月)

290(火)

291(水)

292(木)

293(金)

294(土)

295(日)

296(月)

297(火)

298(水)

299(木)

300(金)

301(土)

302(日)

303(月)

304(火)

305(水)

306(木)

307(金)

308(土)

309(日)

310(月)

311(火)

312(水)

313(木)

314(金)

315(土)

316(日)

317(月)

318(火)

319(水)

320(木)

321(金)

322(土)

323(日)

324(月)

325(火)

326(水)

260

ナガミツブリ

中尾

セイタチ

ヒメウツボ

ナ

ミヅシマダラ

ヒメウツボ

m. —

8-11.40 202

Farne Islands

Whale Rock

202

202

11/3/28. 情況

1. 改善 —— 亂彈刀，亂槍刺刀，亂槍刀

1. 亂彈刀
槍刺刀大部
上三端一位

報告

1. 亂彈刀

1. 槍刺刀各地、軍械局、軍械庫

~~報告~~

大至五道

大正十九年三月五日

ノート一ノート

No. 1

ノート一ノート
~~2475247101704~~

115

208

No. 1.

628

24508

315

308

55

16(+)

午+大内史匂久>達久

午+時才 桜田史未高 スーパーフードセイジム

ナ-伝ス

午+林道次史半弘

午+吉田利一、+林内トヨ子

桜田史レ伝ス

17.

午+吉田利一

午+吉田利一

午+吉田利一

18(土) 7-10時23分

19(日) 7-10時27分

20(月) 7-10時27分以上迄、明後日

21(火) - 四山の

22(水)

310km/h

220 - 164 3.53

260

收銀費

1. 白領帶 10.00

1. 紅牙井 3.60

26n.

~~总计~~

1. 次卧墙漆 1.00

1. 衣柜 3.40

1. 厨房小件 3.00

1. 玻璃镜子 5.00

m. 1. 书架 50.00
- m.s 2.00

1. 灯 110

日本木板有限公司

入			
空氣	220		
水	95-		
水銀	211-		
27日出業	100.-		
支			
✓ 大白丸 魚食	100.-		
○ 大豆	85-		
✓ 新型	70		
✓ 沖繩	60		
✓ 初級書	69.30		
十田豆	40.00		
✓ 田村	70.00		
大久保			
	575.		

大日本雄辯會講談社原稿用紙

26
48
—
21 20 8 | 69.
18
—
29.

80 x 26
—
34

九月廿六日

一

至

1.26

廿六日

至

大阪鑛務署鑛政課長

鑛務官 柏木禎次郎

出中華
印製



宇野和一郎

五
三
一

~

一、一、一、一
中層毛衣
細織體恤衫
毛衫
水連衫

$$\begin{array}{r} 26 \\ 48 \\ \hline 20 & 84 \\ 18 & \cancel{69.33} \\ \hline 28 & \\ 27 & \\ \hline 10 & \end{array}$$

80 x 26
28
~~69.33~~
~~10.69~~
~~(22年) 60~~

11417

財政經濟時報社

田

邊

忠

男

電話銀座一千六百六十八番一
東京市京橋區尾張町一ノ一

東京朝日新聞記者

名倉

勇

要 摘

六 月 四 六

日 八 壴 ⑨ 日 七 十 ⑩ 日 六 十 ⑪

18-26n
4.50
N 93
4.50
11.93 + .13
33.02

要 摘

月 六

日五十二 ⑧ 日四十二 ⑨ 日三十二 ⑩

節久

りんく(1月半)
カサウケ(伊勢)、
塩舟(えんばこ)

月 〇一 民六

二十二(木) 日一十二(水) 日十二(火) 日九十(月)

卷之三

四

1

$$\begin{array}{r} 2.25 \\ 2.21 \\ 1.95 \\ 1.13 \\ \hline 4.89 \end{array}$$

月 日													
七月六日		七月七日											
日	二 ④	日	一 ⑤	日	十三 ⑥	日	九十二 ⑦	日	八十二 ⑧	日	七十二 ⑨	日	六十二 ⑩
七 月 六 日	辛未		壬申	癸酉	癸酉	癸酉	癸酉	癸酉	癸酉	癸酉	癸酉	癸酉	癸酉

要 摘

七
月
七
日

要 摘

六月廿七			
日 六 (木)	日 五 (水)	日 四 (火)	日 三 (四)

要
錄

山亭海序

此元之

r

口	A
1	2
3	4
5	6
7	8

1. 福壽丸
2. 仁和丸
3. 金匱丸
4. 山壽丸
5. 福壽丸
6. 桂山丸